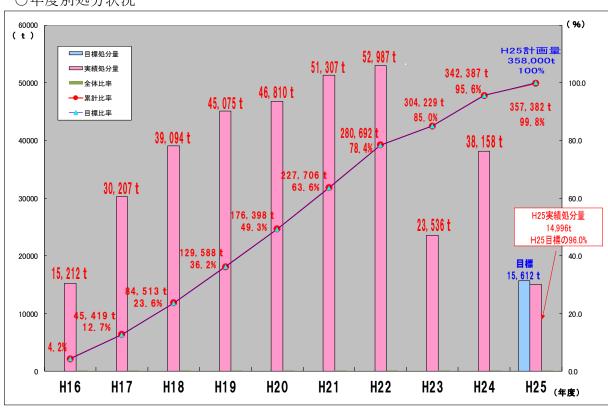
平成25年度廃棄物処分状況及び事業実績について

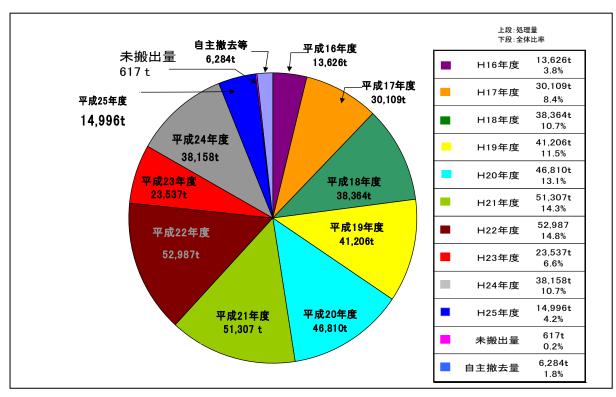
1 平成25年度廃棄物処分状況(2月末時点)

	廃棄物量	処分実績	進捗率	
廃 棄 物 総 量	358,000 t	357, 382 t	99.8%	
平成25年度目標	15,612 t	14, 996 t	96.0%	

※廃棄物総量の処分実績には自主撤去量 6284.18 t を含む

○年度別処分状況





2 廃棄物搬出状況

普通産業廃棄物については、主に太平洋セメント㈱大船渡工場、三菱マテリアル㈱岩手工場及び エコシステム秋田の3施設に搬出を行いました。

2月末までに14,996 tの搬出を行っており、3月26日に撤去が完了します。

○ 平成25年度処分先別処分状況(2月末)

No.	処分先施設名	計画量	処分量	処分状況	
1	太平洋セメント㈱大船渡工場	て平洋セメント㈱大船渡工場 4,100 t			
2	三菱マテリアル㈱岩手工場	3,100 t	2, 955. 60t	95.3%	
3	エコシステム秋田㈱	コシステム秋田㈱ 8,347.41 t			
4	いわて県北クリーン㈱	53 t	52.61 t	99. 2%	
5	㈱クレハ環境	クレハ環境 10 t			
6	㈱東部環境	1.59 t	1.59 t	100%	
	合 計	15,612 t	14, 995. 73t	96.0%	

3 平成25年度各事業の契約状況について

平成25年度における岩手・青森県境不法投棄現場の原状回復に係る業務の契約状況は資料1-2 のとおりです。

平成25年12月18日に日本国土開発㈱と『汚染拡散防止工設置業務』の契約を締結したほか、同年 10~12月に何八紘カイハツ、岩手県南運輸㈱及び大東運輸㈱と廃棄物の運搬業務、太平洋セメント ㈱と廃棄物の処分業務の契約を締結しました。



【廃棄物積込状況 H26.2.14】



【鋼矢板設置状況 H26.3.4】

委託事業契約状況(平成26年2月28日現在)

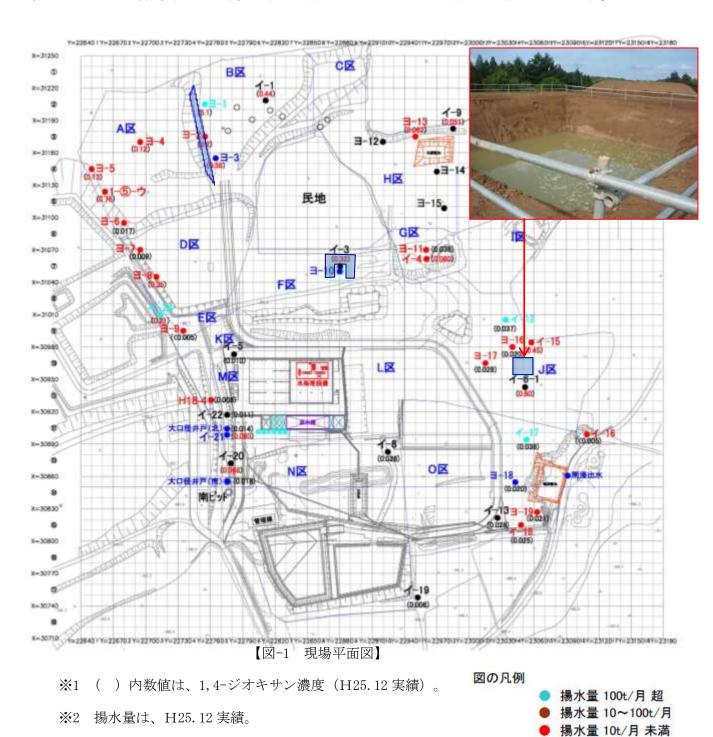
李託	:事業契約状況(平成26年	-2 <u>月</u> 28日	現在)			貝科	
	委託業務名	契約日	契約期間	契約の相手方・ (所在地)	業務の内容又は 廃棄物の種類	年間予定 数量(t)	年間経費 (千円)
汚染才	く処理業務	H25.4.19	H25.4.19~H26.3.31	日本国土開発㈱ (盛岡市)	汚染水処理設備運用1式	_	166,425
廃棄物	n積込・場内管理業務	H25.5.13	H25.5.13~H25.8.30	日本国土開発㈱ (盛岡市)	廃棄物積込1式、 場内管理1式	_	23,100
汚染拡	太散防止工調查·詳細設計業務	H25.5.29	H25.5.29~H25.10.18	応用地質㈱ (盛岡市)	現地測量、地質調査、 詳細設計	-	6,143
廃棄物	勿積込業務	H25.10.24	H25.10.24~H26.2.28	日本国土開発㈱ (盛岡市)	廃棄物積込1式	_	9,975
汚染拡	太散防止工設置業務	H25.12.18	H25.12.18~H26.3.25	日本国土開発㈱ (盛岡市)	止水工 1式	-	17,314
	産業廃棄物(汚泥)処分業務	H25.5.7	H25.5.7~H25.8.31	太平洋セメント(株) (大船渡市)	塩素含有量1,000ppm以下 の汚泥	1,800	38,556
太	産業廃棄物(汚泥)処分②業務	H25.10.29	H25.10.29~H26.3.28	太平洋セメント(株) (大船渡市)	塩素含有量1,000ppm以下 の汚泥	2,300	49,266
平 洋 セ	産業廃棄物(太平洋セメント処理) 運搬①業務	H25.5.8	H25.5.8~H25.8.30	岩手県南運輸㈱ (大船渡市)	太平洋セメント大船渡工場 へ運搬	900	7,088
ピメン	産業廃棄物(太平洋セメント処理) 運搬②業務	H25.5.8	H25.5.8~H25.8.30	侑八紘カイハツ (二戸市)	太平洋セメント大船渡工場 へ運搬	900	7,466
}	産業廃棄物(太平洋セメント処理) 運搬③業務	H25.11.21	H25.11.21~H26.3.20	(有)八紘カイハツ (二戸市)	太平洋セメント大船渡工場 へ運搬	1,000	8,29
	産業廃棄物(太平洋セメント処理) 運搬④業務	H25.11.22	H25.11.22~H26.3.20	岩手県南運輸㈱ (大船渡市)	太平洋セメント大船渡工場 へ運搬	1,000	8,29
<u>=</u>	産業廃棄物(汚泥)処分業務	H25.5.8	H25.5.8~H25.8.30	三菱マテリアル(株) (一関市東山町)	塩素含有量3,000ppm以下 の汚泥	2,100	42,336
菱 マ テ	産業廃棄物(三菱マテリアル処理) 運搬①業務	H25.5.13	H25.5.13~H25.8.30	大東運輸㈱ (一関市東山町)	三菱マテリアル岩手工場 へ運搬	1,050	5,292
リアア	産業廃棄物(三菱マテリアル処理) 運搬②業務	H25.5.9	H25.5.9~H25.8.30	制福田運送 (二戸市)	三菱マテリアル岩手工場 へ運搬	1,050	6,064
ル	産業廃棄物(三菱マテリアル処理) 運搬③業務	H25.12.11	H25.12.11~H26.3.7	大東運輸㈱ (一関市東山町)	三菱マテリアル岩手工場 へ運搬	700	4,704
県	特別管理産業廃棄物(感染性産業 廃棄物)処分業務	H25.7.16	H25.7.16~H25.8.30	いわて県北クリーン㈱ (九戸郡九戸村)	感染性産業廃棄物	0.24	38
北ク	特別管理産業廃棄物(感染性産業 廃棄物)運搬業務	H25.7.17	H25.7.17~H25.7.31	(有)福田運送 (二戸市)	いわて県北クリーン 〜運搬	(1台)	2:
IJ [産業廃棄物(廃プラ・汚泥混合廃棄 物)処分業務	H25.6.28	H25.6.28~H25.8.30	いわて県北クリーン㈱ (九戸郡九戸村)	廃プラスチィック・ 汚泥混合廃棄物	36	1,70
ン	産業廃棄物(廃プラ・汚泥混合廃棄 物)運搬業務	H25.6.28	H25.6.28~H25.8.30	侑八紘カイハツ (二戸市)	いわて県北クリーン 〜運搬	36	162
	産業廃棄物(高塩分汚泥等) 処分業務	H25.5.7	H25.5.7~H25.9.30	エコシステム秋田㈱ (秋田県大館市)	高塩分・金属・ 廃プラリッチ汚泥	4,100	126,998
	産業廃棄物(高塩分汚泥等) 処分②業務	H25.10.17	H25.10.17~H26.3.14	エコシステム秋田㈱ (秋田県大館市)	高塩分・金属・ 廃プラリッチ汚泥	3,500	108,412
	産業廃棄物(エコシステム秋田処 理)運搬①業務	H25.5.24	H25.5.24~H25.8.30	(有)八紘カイハツ (二戸市)	エコシステム秋田 へ運搬	2,035	8,974
工	産業廃棄物(エコシステム秋田処 理)運搬②業務	H25.5.24	H25.5.24~H25.8.30	侑福田運送 (二戸市)	エコシステム秋田 へ運搬	2,035	9,509
コシ	産業廃棄物(エコシステム秋田処 理)運搬③業務	H25.10.17	H25.10.17~H26.2.28	(有)福田運送 (二戸市)	エコシステム秋田 へ運搬	1,750	8,085
ステ	産業廃棄物(エコシステム秋田処 理)運搬④業務	H25.10.17	H25.10.17~H26.2.28	(有)八紘カイハツ (二戸市)	エコシステム秋田 へ運搬	2,035	8,140
ム 秋 田	産業廃棄物(廃油)処分業務	H25.5.22	H25.5.23~H25.8.30	エコシステム秋田㈱ (秋田県大館市)	廃油	13	840
Щ	産業廃棄物(廃油)運搬業務	H25.5.22	H25.5.24~H25.6.30	日本通運㈱ (盛岡市)	エコシステム秋田 へ運搬	13	106
	産業廃棄物(汚泥(廃食品類)、金属 くず)処分業務	H25.6.7	H25.6.7~H25.9.30	エコシステム秋田㈱ (秋田県大館市)	汚泥(廃食品類)、 金属くず	493	21,17
	産業廃棄物(フレコン詰め高塩分汚泥 等)運搬①業務	H25.7.8	H25.7.8~H25.9.30	福興産業㈱ (福島県桑折町)	フレコン詰め高塩分汚泥等	246	1,009
	産業廃棄物(フレコン詰め高塩分汚泥 等)運搬②業務	H25.6.12	H25.6.12~H25.8.30	日本通運㈱ (盛岡市)	フレコン詰め高塩分汚泥等	246	1,578
環境が	産業廃棄物(廃PCB等)処分業務	H25.8.1	H25.8.1~H25.12.31	(構クレハ環境 (福島県いわき市)	廃PCB等	(44本)	19,866
境 _ハ	産業廃棄物(廃PCB等)運搬業務	H25.8.7	H25.8.7~H25.8.30	日本通運㈱ (盛岡市)	クレハ環境へ運搬	(2台)	630
環東 境部	産業廃棄物(廃タイヤ)運搬業務	H25.8.7	H25.9.17~H25.10.31	㈱東部環境 (東松島市)	東部環境へ運搬・ 廃タイヤ処分	1.56	84
 水質関	· 関係周辺環境調査	H25.4.23	H25.4.23~H26.3.21	エヌエス環境㈱ (盛岡市)	水質分析、 底質分析等の測定	4·10回/年 1回/年	14,175
		•	i e	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		/	

1,4-ジオキサン対策について

1 汚染土壌の浄化

(1) 土壌浄化の実施状況

汚染土壌の浄化は洗い出し方式で実施しており、B・F・J地区に設置した池から区域内に給水しています。1,4-ジオキサンを含む地下水を20井戸(H25.12実績)から揚水により回収(水量観測は毎日)し、1,4-ジオキサンの分解等により環境基準に適合させた処理水を洗い出しに再利用しています。



:貯水池

(2) 地下水の水質

大口径南

定期調査を実施している42井戸のうち、採水可能であった39井戸を調査した結果、H25.12時点で 環境基準値の超過は17井戸でした。最大値はB地区ヨー1井戸の 5.1mg/L (環境基準値の102倍)。

なお、揚水井戸(ヨ系列)は、冬期間(ポンプ等の凍結防止)のため、H25.12まで稼動しました。 (これにより、1,4-ジオキサンの測定も同月まで実施。)

また、モニタリング井戸(イ系列)では、積雪の影響がないH26.1まで1,4-ジオキサンの測定を 実施しました。

これまでの1,4-ジオキサン濃度の推移を見ると、B地区の濃度が比較的、高い状態で推移しています。

【表-1 1,4-ジオキサン濃度の推移】

0.11

0.097

0.13

単位:mg/L 環境基準: 0.05mg/L以下 区画 揚水井 4月 5月 6月 9月 10月 11月 12月 7月 8月 1月 2月 **∃**−1<u>%</u>1 В 7.1 7.8 6.8 0.10 0.41 0.15 6.5 5.1 ∃-2×1 В 1.6 8.2 2.0 0.64 0.38 3.0 6.0 3.2 ∃-3※1 В 0.38 0.82 0.40 0.36 0.80 0.33 0.84 1.2 0.58 ∃-4 Α 0.13 0.13 0.11 0.15 0.12 0.48 0.17 0.18 0.12 ∃-5 Α 0.074 0.089 0.10 0.082 0.023 0.014 0.064 0.064 0.13 ∃-6 0.23 < 0.005 0.097 0.025 < 0.005 < 0.005 0.022 0.034 0.017 0.007 0.009 0.006 0.005 0.013 0.010 <0.005 0.009 **3**-7 D 0.013 ∃-8 D 0.28 0.39 0.17 0.64 0.68 0.96 0.22 0.35 <0.005 ∃-9 Ε 0.18 0.17 0.22 0.16 0.15 0.17 0.014 <0.005 ∃-11 0.035 G 0.053 0.062 0.072 0.051 0.037 0.049 0.041 0.039 未測定 未測定 ∃-12 0.005 Н 0.033 0.050 0.030 < 0.005 0.037 0.042 0.049 **∃**−13 Н 0.046 0.062 ∃-14 800.0 Н **∃**−15 Н < 0.005 **∃**−16 0.041 0.013 0.012 0.009 0.043 0.030 0.024 0.032 0.020 **3**-17 0.012 0.019 0.040 0.035 0.043 0.024 0.028 0.045 0.045 ∃-18 0.043 0.050 800.0 0.020 ∃-<u>19</u> 0 0.037 0.033 0.039 0.029 0.024 0.035 0.045 0.024 0.021 H18-4 0.008 0.012 0.050 1-⑤-ウ 0.56 0.11 0.62 0.59 0.62 0.59 大口径北 0.28 0.27 0.17 0.019 0.014 0.097 0.090 0.31 0.27 0.069 М

0.094

0.065

0.064

0.029

0.018

0.015

0.022

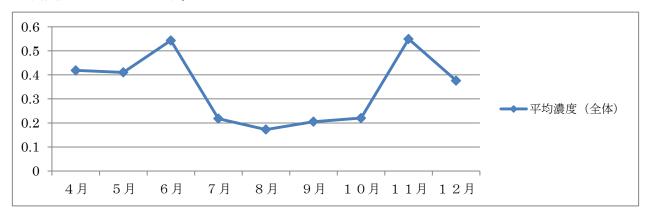
モニタリング井戸	区画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
イ-1	В	2.3	0.080	0.46	0.58	0.17	0.98	0.86	0.64	0.44	0.61	
イ−3(∃−10) _{※2}	F	0.32	0.39	0.44	0.35	0.10	0.16	0.12	0.074	0.32	0.28	
イ-4	G	0.016	0.071	0.034	0.052	0.12	0.10	0.11	0.065	0.080	0.092	
イ-5	K	0.012	0.006	0.005	<0.005	0.008	0.013	0.021	0.014	0.010	0.006	
イ-6-1※3	J	0.42	0.37	0.29	0.086	0.47	0.49	0.46	0.67	0.80	0.48	
イ-8	Ν	0.025	0.028	0.035	0.023	0.029	0.041	0.032	0.022	0.026	0.021	
イ-9	Η	0.047	0.056	0.060	0.056	0.050	0.068	0.049	0.061	0.051	0.051	
イ-11	現場外	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	<0.005	<0.005	
イ-12	N	0.042	0.045	0.061	_	0.017	0.011	0.025	0.027	0.037	0.019	
イ-13	Н	0.043	0.046	0.042	0.039	0.036	0.051	0.044	0.032	0.028	0.034	未測定
イ-14	現場外	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	<0.005	<0.005	不例足
イ −15※₃	J	0.31	0.56	0.63	0.12	0.54	0.68	0.20	0.48	0.45	0.45	
イ-16	0	0.005	0.007	0.007	0.008	0.013	0.013	< 0.005	< 0.005	<0.005	<0.005	
イ-17	0	0.041	0.038	0.042	0.041	0.038	0.042	0.030	0.040	0.038	0.043	
イ-18	0	0.050	0.049	0.049	0.048	0.048	0.049	0.046	0.006	0.025	0.034	
イ-19	現場外	0.016	0.009	0.015	0.010	0.010	0.011	0.011	0.008	0.006	0.007	
イ-20	N	0.058	0.074	0.070	0.029	0.058	0.13	0.060	0.068	0.068	0.078	
イ-21	М	0.092	0.086	0.065	0.19	0.080	0.13	0.14	0.10	0.060	0.075	
イ-22	М	0.017	0.013	0.016	0.020	0.019	0.018	0.011	0.014	0.011	0.010	
イ-24	K	0.23	0.26	0.19	0.18	0.48	0.40	0.21	0.22	0.21	0.19	

表の凡例: 基準10倍以下、■ 基準100倍以下、■ 基準100倍超

□ 貯水池により洗い出しを行っている井戸

※1 貯水池設置(6月)、※2 貯水池設置(4月)、※3 貯水池設置(6月)

H25. 12時点の全井戸の1, 4-ジオキサン濃度平均値は、約0. 38 m g /Lであり、濃度の推移は、図-2のとおり漸減傾向となっています。

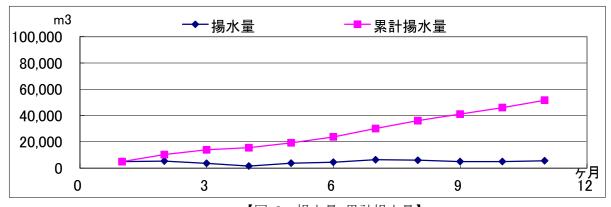


【図-2 1,4-ジオキサン平均濃度】

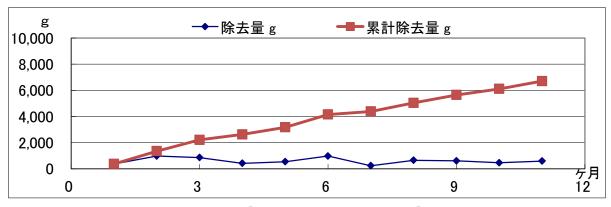
H26. 2時点の累計揚水量は、51,624m3 (平均揚水量は、4,693m3/月)、1,4-ジオキサンの累計除去量は、6,700g (平均除去量は、609g/月) となっています。

【表-2 揚水量・1,4-ジオキサン除去量】

日付		H25.4	H25.5	H25.6	H25.7	H25.8	H25.9	H25.10	H25.11	H25.12	H26.1	H26.2
経過月数	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
揚水量	m3	4,923.9	5,377.2	3,637.1	1,574.2	3,745.8	4,500.2	6,355.1	5,995.5	4,965.5	4,970.9	5,578.7
累計揚水量	m3	4,923.9	10,301.1	13,938.2	15,512.4	19,258.2	23,758.4	30,113.5	36,109.0	41,074.5	46,045.4	51,624.1
除去量	g	373.6	976.6	859.5	418.1	543.9	976.9	236.7	652.2	606.9	464.2	592.1
累計除去量	g	373.6	1,350.2	2,209.7	2,627.8	3,171.7	4,148.6	4,385.3	5,037.5	5,644.4	6,108.6	6,700.7



【図-3 揚水量-累計揚水量】

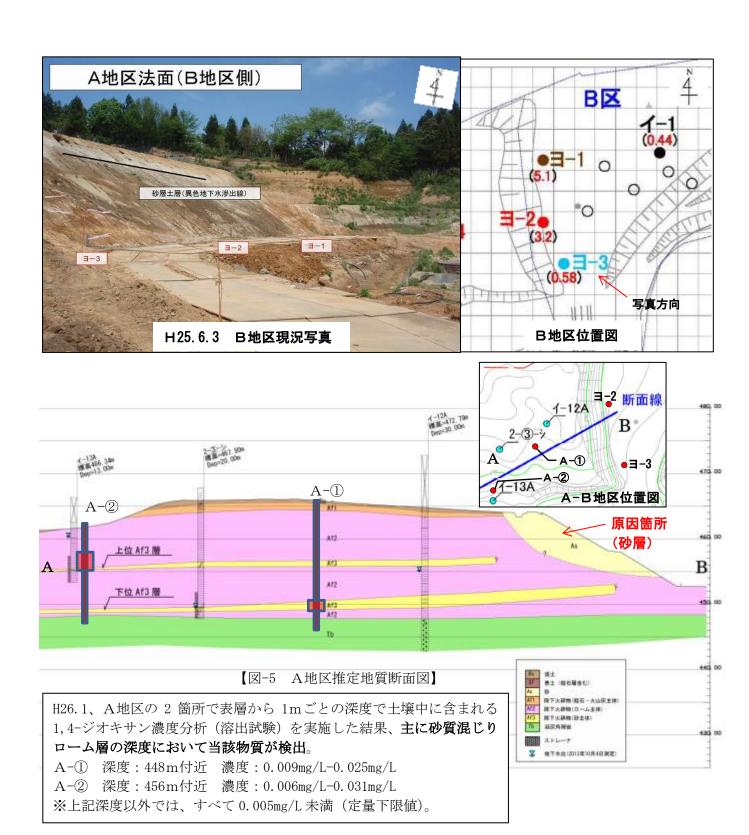


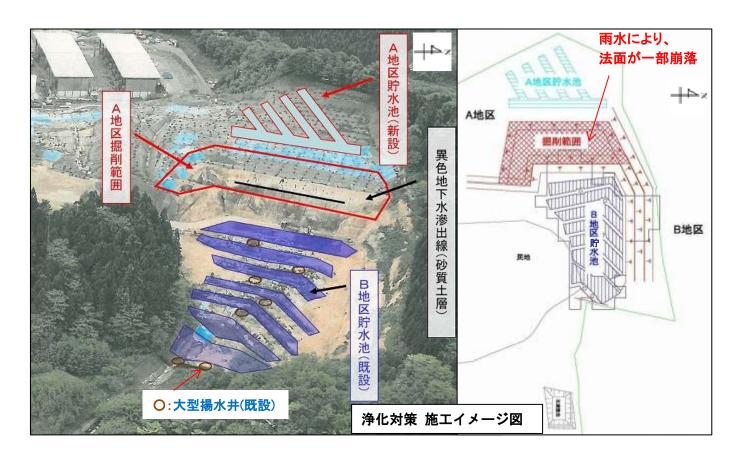
【図-4 除去量-累計除去量】

(3) 今後の対策

A-B地区の境界法面の中ほどの砂質土層において、褐色の滲出水から1,4-ジオキサンが検出されており、当該層が高濃度帯になっていると考えられます。

汚染源対策として、A-B地区の境界にある法面部分を含む砂質土層全体を掘削除去するとともに、B地区で実績のある洗出方式による浄化をA地区で実施することとします (⇒貯水池の設置、注水等)。





2 汚染地下水の流出防止対策

県境部の遮水工については、3月4日より鋼矢板の設置工事に着手しており、早期の工事完了に向けて、現在、作業を進めています。

【事業費:約1億8千万円、 鋼矢板設置延長:121.2m、設置深度平均:約20m】



遮水工現況写真(H26.3.4)

【図-5 県境部遮水工位置図】

3 水処理施設運転状況

(1) 処理水の監視体制

水処理を適切に実施するため、処理水中の1,4-ジオキサンを週1回、揮発性有機化合物 (VOC) 及び重金属等を月1回、水質環境基準の評価方法(公定法)により測定しています。

(2) 処理水の監視結果 (H25.11~H26.2)

水処理施設は安定に稼働しており、全ての項目において基準に適合しています(分析結果は計量証明 書のとおり)。

【表-3 1,4-ジオキサンの処理状況】

単位:mg/L

基準値:0.05mg/L以下

種類	11月4日	11月11日	11月18日	11月25日	12月2日	12月9日	12月16日	12月23日
原水	0.17	0.15	0.13	0.11	0.16	0.17	0.15	0.13
処理水	0.010	0.007	<0.005	<0.005	0.008	0.009	0.008	0.008
種類	1月6日	1月13日	1月20日	1月27日	2月3日	2月10日	2月17日	2月24日
原水	0.089	0.088	0.12	0.14	0.10	0.11	0.12	0.10
処理水	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	< 0.005

〇マンガン除去対策

マンガン砂ろ過槽の前後において、マンガン濃度を分析した結果は、次のとおりです。

【表-4 マンガン濃度の状況】

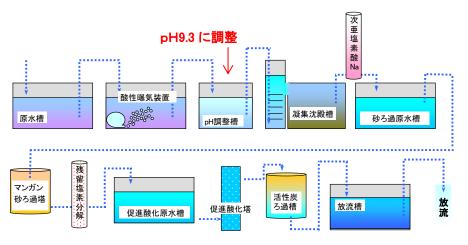
単位:mg/L

	11月4日	11月6日	11月9日	11月14日	11月18日	11月26日
処理前①	12	12	10	8.8	9.2	11
処理後②	12	12	0.09	6.8	7.0	6.0

	12月2日	12月9日	12月16日	12月24日
処理前①	9.2	11	5.9	7.3
処理後②	7.2	6.1	0.08	4.2

11月当初、凝集沈殿槽で発生した浮遊フロックがマンガン砂ろ過塔に流入したため、マンガン砂の目詰まりを起こし、マンガン除去不良となりました。

この対策として、凝集沈殿槽への流入水をpH9.3に調整すると目詰まりが起きないことが確認できたため、11月9日以降、除去効率は良好に維持されています。



【図-6 水処理フロー図】



pH8.5: スラッジが厚く付着



pH9.3:スラッジが表面のみ付着



日本国土開発株式会社 殿

計量証明事業登録 岩手県 第70号 事業者 エヌエス 環 第2株式 会社 〒105-0003 東京都港 区西 新橋 3-24-9 事業所 総 合 分 が な シ タ ー 〒020-0122 岩手県盛岡市がとけ4万 83 33号

計量管理者 谷藤 伸也 環境計量士(濃度関係) 登録番号 第4396号

貴依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

試料採取日	平成25年11月6日 採取時刻 15:30 採取者/所属 -		日本国土開発株式会社			
採取状況	_					
採取場所	岩手県境水処理作業所	試料受付日	平成25年11月6日			
件 名	平成25年度岩手・青森県境不法投棄現場汚染水処理業務					
試料名	汚染水処理設備(処理水)	計量対象	水質			

試 料 名 污染水処理設備	(処理水)			計量対象 水質
計量項目	(単位)	計量の結果	定 量下限値	計量の方法
水素イオン濃度 (pH)	-	6.0	小数1桁	JIS K 0102 12.1(2008)
化学的酸素要求量(COD)	(mg/L)	5. 6	0. 5	JIS K 0102 17(2008)
孚遊物質量(SS)	(mg/L)	1未満	1	S46環告第59号付表9(H25改正)
カドミウム	(mg/L)	0.0003未満		JIS K 0102 55.4(2008)
全シアン	(mg/L)	0.1未満	0. 1	JIS K 0102 38.1及び38.3(2008)
沿	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0102 54.4(2008)
た価クロム	(mg/L)	0.005未満	0.005	JIS K 0102 65. 2. 4 (2008)
此素	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0102 61.4(2008)
総水銀	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46環告第59号付表1(H25改正)
アルキル水銀	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46環告第59号付表2(H25改正)
ジクロロメタン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2(1995)
B 塩化炭素	(mg/L)	0.0002未満	0,0002	JIS K 0125 5.2(1995)
,2-ジクロロエタン	(mg/L)	0.0004未満	0.004	JIS K 0125 5.2(1995)
,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2(1995)
ンス-1, 2-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.004未満	0.004	JIS K 0125 5.2(1995)
,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	0.0005未満	0. 0005	JIS K 0125 5.2(1995)
,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	0.0006未満		JIS K 0125 5, 2(1995)
・リクロロエチレン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2(1995)
テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.0005未満		JIS K 0125 5.2(1995)
,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	0.0002未満		JIS K 0125 5.2(1995)
ベンゼン	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0125 5.2(1995)
消酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	4.6	0. 02	JIS K 0102 43. 2. 3 (2008)
かっ素	(mg/L)	0.08未満	0, 08	JIS K 0102 34.1(2008)
まう素	(mg/L)	0.1未満	0. 1	JIS K 0102 47.4(2008)
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	0.0002未満		H9環境庁告示第10号付表 (H24改正)
,4-ジオキサン	(mg/L)	0.011	0.005	S46環告第59号付表7(H25改正)
	····· · · · · · · · · · · · · · · · ·	以下余白		- 10 N/ 10 N
		2.1.7.1		
		,		
			/ 	
	···			
			-	
		 		
		<u> </u>		



日本国土開発株式会社 殿

計量証明事業登録 岩手県 第70号 事業者 エヌエス環境 株式会社 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-24-9 事業所総合分子はためター 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけて 月3番33号

計量管理者 谷藤 伸也 環境計量士 (濃度関係) 登録番号 第439

貴依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

:試料採取日	平成25年12月4日 採取時刻 13:15 採取者/所属 -		日本国土開発株式会社
採取状況	_	·	
採取場所	岩手県境水処理作業所	試料受付日	平成25年12月4日
	平成25年度岩手・青森県境不法投棄現場汚染水処理業務		
試料名	汚染水処理設備(処理水)	計量対象	水質

計量項目	(単位)	計量の結果	定量	計學の士法
	······································	L	下限値	計量の方法
素イオン濃度(pH) ご学的酸素要求量(COD)	(/1)	5.9		JIS K 0102 12.1(2008)
遊物質量(SS)		8.9	0.5	JIS K 0102 17 (2008)
・近初貝風(33)	(mg/L)	1未満	1	S46環告第59号付表9(H25改正)
シアン	(mg/L)	0.0003未満		JIS K 0102 55.4(2008)
3		0.1未満	0. 1	JIS K 0102 38.1及び38.3(2008)
価クロム		0.001未満	0.001	JIS K 0102 54.4(2008)
:素		0.005未満	0.005	JIS K 0102 65. 2. 4 (2008)
·杰 :水銀		0.001未満	0.001	JIS K 0102 61.4(2008)
ルキル水銀			0.0005	S46環告第59号付表1 (H25改正)
クロロメタン		0.0005未満		S46環告第59号付表2(H25改正)
塩化炭素		0.002未満	0.002	JIS K 0125 5. 2(1995)
2-ジクロロエタン		0.0002未満		JIS K 0125 5.2(1995)
1-ジクロロエチレン		0.0004未満		JIS K 0125 5.2(1995)
ス-1,2-ジクロロエチレン			0,002	JIS K 0125 5.2(1995)
1,1-トリクロロエタン			0.004	JIS K 0125 5.2(1995)
1,2-トリクロロエタン		0.0005未満		JIS K 0125 5.2(1995)
リクロロエチレン		0.0006未満		JIS K 0125 5.2(1995)
トラクロロエチレン			0.002	JIS K 0125 5.2(1995)
3-ジクロロプロペン		0.0005未満	0.0005	JIS K 0125 5.2(1995)
ンゼン		0.0002未満 0.001未満		JIS K 0125 5. 2 (1995)
酸性窒素及び亜硝酸性窒素		8.2		JIS K 0125 5. 2 (1995)
の素		<u>0. 2</u> 0. 08未満		JIS K 0102 43. 2. 3 (2008)
う素			0. 08 0. I	JIS K 0102 34.1 (2008)
化ビニルモノマー				JIS K 0102 47. 4 (2008)
4-ジオキサン		0.0002末個	0.0002	H9環境庁告示第10号付表(H24改正)
100,190	(mg/L)	以下余白	0.005	S46環告第59号付表7(H25改正)
		<u> </u>		
		-		
				
		·		
		- 		
			<u> </u>	
・計量に供した試料は持込	1 計(1			
日本に対した砂がは付え	<u>``</u> ₽	۰		



日本国土開発株式会社 殿

計量証明事業登録 岩手県 第70号 事業者 エヌエス 環境 株式会社 〒105-0003 東京都港区 西新橋 3-24-9 事業所総合分に折わなしター 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ4 IT 目3番33

貨依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

計量管理者 谷藤 伸也 環境計量士(護度関係) 登録番号 第4398等

			-0.,0	26.30	川延二 (1000区区)	所/ 互际银行 第4390 束
試料採取日 平成26年1人		诗刻: 14:45	採取者/	所属 一	· / · 月2	本国土開発株式会社
採取状況 一				,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
採取場所 岩手県境水処		·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·-····································	試料受付日	平成26年1月8日
件 名 平成25年度岩	当手・脊森県	境不法投棄	見場汚染力	(処理業終	1	17744
試 料 名 汚染水処理氰	设備(処理水)				計量対象	水質
計量項目	(単位)	計量の結果	定 盘 下限値		計量の方	法
水素イオン濃度(pH)	_	7.4	小数1桁	JIS K 0102 12.	1 (2008)	
化学的酸素要求量(COD)	(mg/L)	1.7	0.5	JIS K 0102 17(
写遊物質量(SS)	(mg/L)	1未満	1	S46環告第59号(
カドミウム	(mg/L)	0.0003未満	0.0003	JIS K 0102 55.		
全シアン	(mg/[)	0 1美港	Λ 1	TIC V DIAG 20		

計量項目	(単位)	計量の結果	定 <u>低</u> 下限値	計量の方法
水素イオン濃度(pH)	-	7.4	小数1桁	JIS K 0102 12.1 (2008)
化学的酸素要求量(COD)	(mg/L)	1.7	0.5	JIS K 0102 17 (2008)
浮遊物質量(SS)	(mg/L)	1未満	1	S46環告第59号付表9(H25改正)
カドミウム		0.0003未満	0.0003	JIS K 0102 55.4(2008)
全シアン		0.1未満	0.1	JIS K 0102 38.1及び38.3(2008)
鉛		0.001	0.001	JIS K 0102 54.4(2008)
六価クロム		0.005未満	0.005	JIS K 0102 65.2.4(2008)
砒素		0.008	0.001	JIS K 0102 61.4(2008)
総水銀				S46環告第59号付表1(H25改正)
アルキル水銀		0.0005未満	0.0005	S46環告第59号付表2(H25改正)
ジクロロメタン	(mg/L)			JIS K 0125 5.2(1995)
四塩化炭素	(mg/L)	0.0002未満		JIS K 0125 5.2(1995)
1,2-ジクロロエタン				JIS K 0125 5.2(1995)
1,1-ジクロロエチレン			0.002	JIS K 0125 5.2(1995)
シス-1,2-ジクロロエチレン				JIS K 0125 5.2(1995)
1, 1, 1-トリクロロエタン		0.0005未満		JIS K 0125 5.2(1995)
1,1,2-トリクロロエタン		0.0006未満		JIS K 0125 5.2(1995)
トリクロロエチレン				JIS K 0125 5. 2(1995)
テトラクロロエチレン		0.0005未満	0 0005	JIS K 0125 5.2(1995)
1, 3-ジクロロプロペン	(mg/L)	0,0002未満		JIS K 0125 5. 2(1995)
ベンゼン	(mg/L)			JIS K 0125 5.2 (1995)
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)			JIS K 0102 43.2.3 (2008)
ふっ素				JIS K 0102 34.1 (2008)
ほう素		······································		JIS K 0102 47. 4(2008)
塩化ビニルモノマー		0.0002未満		H9環境庁告示第10号付表(H24改正)
1,4-ジオキサン				S46環告第59号付表7(H25改正)
		以下条百	0.000	340米日 3539 57 3 37 (1250 X)上)
		2121		
	··	···		100 W
**				ر المراقع الم
·				
		·		

			i	
	[-			
備・計算に供した試料は持定	1 計劃 元山			
DATE OF DATE	ሷው\ሳት ሮ [*] ን	ō		
				· ·
考	•		,	



日本国土開発株式会社 殿

貨依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

計量管理者 谷藤 伸也 環境計量士 (濃度関係) 登録番号 第4395号

試料採取日 平成26年2月5日	採取時刻 11:	45 採取者/所属		/	日本国土開発株式会社
採取状況 —					- 1 md 1 m 2 m 2 m 4 m 4 m 4 m 4
採取場所 岩手県境水処理作	業所		·	試料受付日	平成26年2月6日
件 名 平成25年度岩手		棄現場污染水処理業	務		·*····································
試料名 汚染水処理設備(処理水)			計量対象	水質

以 村 石 丹泉 水处理战师	(ASAEW)			計蔵対象 水質
計量項目	(単位)	計量の結果	定量 下限値	計量の方法
水素イオン濃度(p H)		6.2		JIS K 0102 12, 1 (2008)
化学的酸素要求量(COD)	(mg/L)	5.8	0.5	JIS K 0102 17(2008)
浮遊物質量(SS)	(mg/L)	1未満	1	S46環告第59号付表9(H25改正)
カドミウム	(mg/L)		0.0003	JIS K 0102 55.4(2008)
全シアン	(mg/L)	0.1未満	0. 1	JIS K 0102 38.1及び38.3(2008)
鉛	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0102 54, 4 (2008)
六価クロム	(mg/L)	0.005未満	0.005 .	JIS K 0102 65. 2. 4(2008)
砒素	(mg/L)		0.001	JIS K 0102 61.4(2008)
総水銀	(mg/L)		0,0005	S46環告第59号付表1(H25改正)
アルキル水銀	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46環告第59号付表2(H25改正)
ジクロロメタン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2(1995)
四塩化炭素	(mg/L)	0.0002未満	0.0002	JIS K 0125 5.2(1995)
1, 2-ジクロロエタン	(ng/L)	0.0004未満	0.004	JIS K 0125 5.2(1995)
1, 1-ジクロロエチレン			0.002	JIS K 0125 5.2(1995)
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.004未満	0.004	JIS K 0125 5.2(1995)
1, 1, 1-トリクロロエタン	(mg/L)		0.0005	JIS K 0125 5.2(1995)
1, 1, 2-トリクロロエタン		0.0006未満	0.0006	JIS K 0125 5. 2(1995)
トリクロロエチレン	(mg/L)		0.002	JIS K 0125 5, 2(1995)
テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.0005未満		JIS K 0125 5.2(1995)
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)		0.0002	[JIS K 0125 & 2(1995)
ベンゼン	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0125 5. 2(1995)
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	7.0	0. 02	JIS K 0102 43. 2. 3(2008)
ふっ紫		0.08未満	0.08	JIS K 0102 34.1 (2008)
ほう素	(mg/L)	0.1未満	0. 1	JIS K 0102 47. 4 (2008)
塩化ビニルモノマー	(mg/L)		0.0002	H9環境庁告示第10号付表(H24改正)
1,4-ジオキサン	(mg/L)	0.005未満	0.005	S46環告第59号付表7(H25改正)
		以下条首	0.000	10105K El 3300 13 (1) 32 1 (112015K II.)
** - PRIME TO 18** STORE THE THE THE THE THE THE THE THE THE TH		21374		And the state of the last plants
			ļ	
ده در ما در باز در باز در باز در باز در در ادر در باز در باز در در در در در در در د 		·		
			ļ	
	*	ļ	ļ	The second secon
			<u></u>	The second state of the second states are the second states and the second states are th
			ļ	A TO SECURE AND THE PARTY OF TH
	~117 ~ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
والمراوعين والمراوي والموال والمناوعين والماء		·	ļ	
		·	ļ	
			ļ	
		·		
				The state of the s
	1 Selekt	<u> </u>		i de la companya del companya de la companya del companya de la co
備・計量に供した試料は持済	心 队孙(7	0		
1				•
考	,	•		•
ا دب				•

N地区汚染土壌対策について

1 揮発性有機化合物 (VOC) 詳細調査

(1)調査結果(要旨)

岩手・青森県境不法投棄現場のN地区において、第59回原状回復対策協議会における御意見等を踏まえ、 昨年12月に地下水に含まれる揮発性有機化合物 (VOC) の詳細調査を実施しました。

その結果、調査した82区画中、環境基準の超過は西側(県境周辺)の一部、14区画(=17%)で、確認されましたが、東側の区画では、基準の超過が認められませんでした。

N地区の地下水は東側から西側に流れていることから、上記の状況は、雨水浸透で涵養された地下水により汚染物質が県境周辺に集積して環境基準の超過に至ったものと推定され、土壌の浄化過程における過渡的な現象と考えられます。

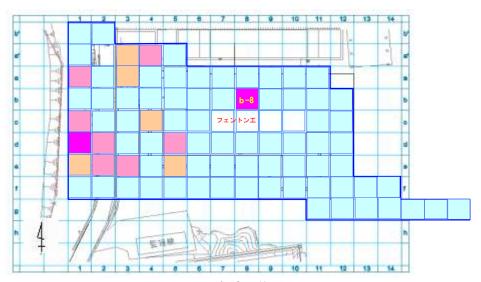


図-1 調査結果位置図

< 凡例> ■:環境基準値以下、■:5倍以下、■:5~50倍、■:50倍以上

□:採水不能5区画

(a'2:表流水が井戸内に流入し冠水、 C7~10:フェントン工実施のため井戸撤去)



図-2 N地区現況写真(H25.7)

(2) VOC濃度の状況(H25.12)

全域調査(12月)において、b-8区画でテトラクロロエチレン(0.90mg/L:環境基準の90倍)、d-1区画でベンゼン(0.97mg/L:環境基準の97倍)が高濃度で検出されました。

b-8区画の汚染は、周辺部の区画でVOCが検出されていないこと(図-3のとおり)、また、同区画がドラム缶の投棄場所近傍であったことから、その区画内に残留していたものと考えられます。

d-1区画の汚染は、同区画が地下水の下流域にあることから、汚染物質が県境周辺に集積して濃度の増加に至ったものと推定されます。

表-1 環境基準超過区画のVOC濃度

単位:mg/L

計量項目	a'-3	a'-4	a-1	a-3	b-8	c-1	c-4	d−1	d-2	d−5	e-1	e-2	e-3	e-5	環境基準値
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.033	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.004	<0.002	0.02
四塩化炭素	<0.0002	8000.0	<0.0002	<0.0002	0.005	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	0.0056	0.0084	0.025	0.044	0.0083	0.11	0.03	0.015	0.0052	0.032	0.011	0.0005	0.004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009	0.002	<0.002	0.005	<0.002	0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.1
1,2-ジクロロエチレン	0.02	0.014	0.029	0.06	0.58	0.27	0.053	0.65	0.22	0.27	0.12	0.21	<0.004	0.008	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	0.002	0.005	0.0022	<0.0005	0.055	0.014	0.0032	0.0098	0.011	0.012	0.0018	0.015	<0.0005	0.0011	1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.0035	0.006
トリクロロエチレン	0.044	0.044	0.16	0.005	0.32	0.17	0.024	0.1	0.15	0.17	0.007	0.11	<0.002	0.016	0.03
テトラクロロエチレン	0.042	0.079	0.0082	0.001	0.9	0.047	0.0019	0.013	0.067	0.16	0.0071	0.054	<0.0005	0.037	0.01
1.3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン	0.002	<0.001	0.027	0.034	0.14	<0.001	0.001	0.97	0.058	0.002	0.021	0.18	0.19	<0.001	0.01
															•

50-100倍 5-50倍 5倍以下 基準値以下

表-2 b-8区画周辺のVOC濃度

単位:mg/L

計量項目	a-7	a-8	a-9	b-7	b-8	b-9	環境基準値
ジクロロメタン	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.033	<0.002	0.02
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.005	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.0006	0.025	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009	<0.002	0.1
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.58	<0.004	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.055	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.32	<0.002	0.03
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.9	<0.0005	0.01
1.3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.14	<0.001	0.01

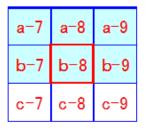
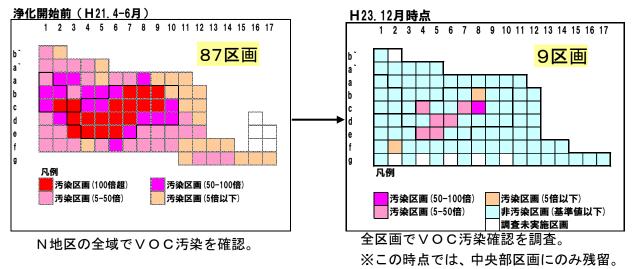
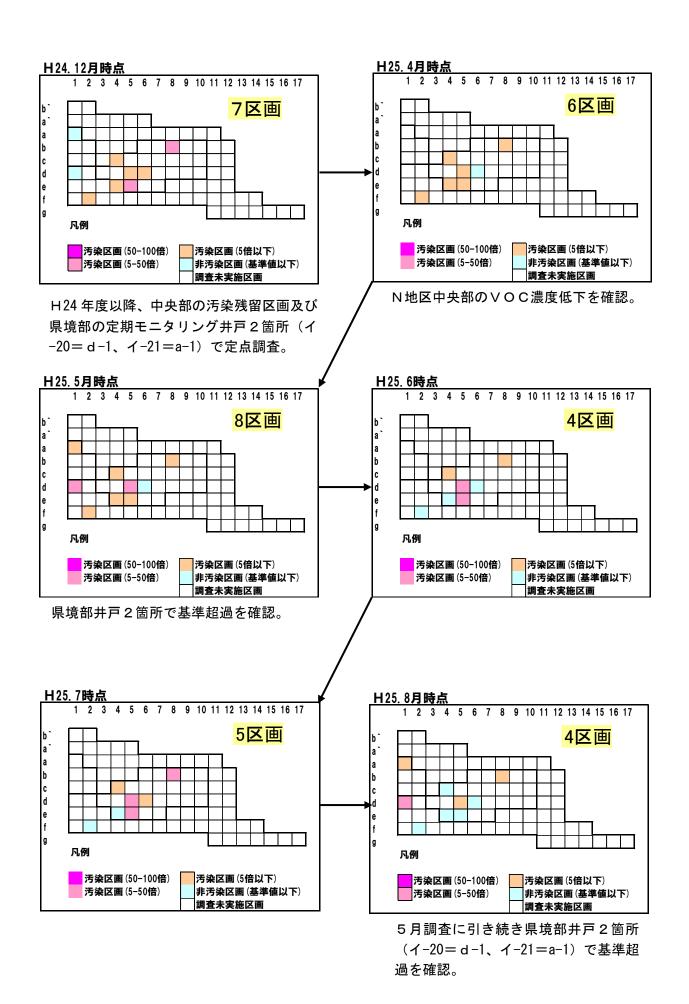


図-3 b-8周辺区画位置図 ※c-7、8は、フェントン工区画

2 VOC汚染の推移

N地区におけるVOC測定濃度経過及び汚染状況の推移は、以下のとおりです。





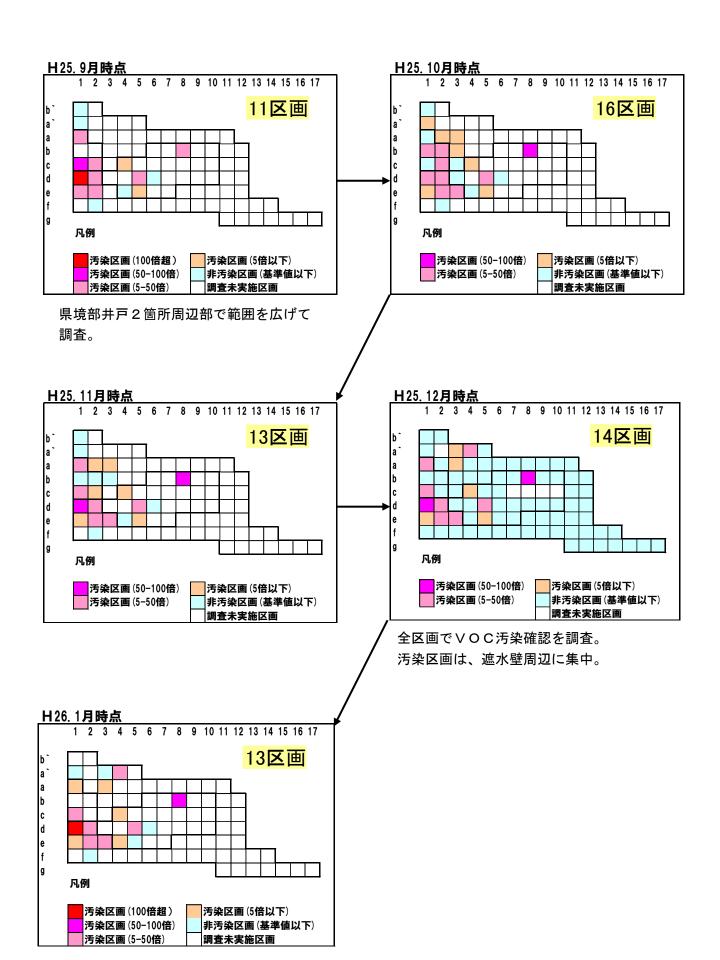


表-3 VOC濃度(H26.2) ※積雪の影響により9区画のみ実施

計量項目	d-1(イ-20)	a-1(イ-21)	b-8	c-4	d−5	d-6	e-4	e-5	f-2	環境基準値
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	0.044	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	0.0021	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	0.12	0.0080	0.03	0.0079	<0.0004	0.0004	0.0026	<0.0004	0.0018	0.004
1,1-ジクロロエチレン	0.009	<0.002	0.004	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1
1,2-ジクロロエチレン	0.82	0.056	0.55	0.095	<0.004	0.007	<0.004	<0.004	0.018	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	0.030	0.0027	0.038	0.0044	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.013	1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
トリクロロエチレン	0.37	0.028	0.44	0.039	<0.002	0.003	<0.002	<0.002	0.004	0.03
テトラクロロエチレン	0.12	0.012	0.71	0.048	0.0032	0.0029	<0.0005	<0.0005	0.0026	0.01
1.3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン	0.99	0.056	0.22	0.044	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.005	0.01

50-100倍 5-50倍 5倍以下 基準値以下

3 今後の対応

VOCの回収を促進するため、昨年12月から注水及び揚水の増量により洗い出しを強化しています。

今後は、汚染土壌浄化対策検討委員会などの助言を得ながら、必要に応じて、揚水井の増設などの対策を講じ、土壌浄化の早期完了を目指します。



図-3 N地区現況写真(H25.11)

単位:mg/L



b-8周辺で揚水を強化(2箇所増)

湛水面積の拡大

図-4 N地区現況写真(H25.12)

平成25年度環境(定期)モニタリング結果(総括)

○大気モニタリング:別紙1のとおり

- 1 調査時期
- ・平成25年5月27日 ~ 平成25年6月5日 (春期)
- ·平成25年7月22日 ~ 平成25年7月30日(夏期)
- ·平成25年10月1日 ~ 平成25年10月11日(秋期)
- ·平成25年12月1日 ~ 平成25年12月10日(冬期)
- 2 調査地点

場内4地点及び周辺2地点

- 3 調査項目
- $(1) 1 1 \sim 3$

二酸化窒素等8項目

(2) 1-1a~c

有害大気汚染物質等4項目、悪臭物質2項目

4 調査結果総括

全地点で、全項目について環境基準値等を下回った。

〇水質モニタリング:別紙2のとおり

- 1 調査時期
 - ・平成25年4月 ~ 平成26年1月(年10回)
- 2 調査地点
 - (1) 水質:32 箇所
 - ・地下水:21ヶ所(場内中央部6ヶ所、西側県境部4ヶ所、東側周辺部11ヶ所)
 - ・表流水(河川、沢、調整池等):11ヶ所
 - (2)底 質(河川・沢等):6ヶ所
- 3 調查項目
 - (1)水質

生活環境項目 (pH 等 6 項目)

健康項目(カドミウム等29項目)

要監視項目(トルエン等2項目)

その他(電気伝導度等5項目) 計42項目

(2)底質

環境基準項目(カドミウム等26項目)

その他 (ダイオキシン類等 2 項目) 計 28 項目

4 調査結果総括

- (1)地下水
 - ・1,4-ジオキサンの検出状況:複数の地域で環境基準値超過が継続している。いずれの地点でも濃度の推移に大きな変動なし(B地区(環境基準値の10倍程度)、J地区(環境基準値の8倍程度)、K地区(環境基準値の5倍程度)が比較的高い濃度で推移している)。
 - ・重金属類の検出状況:12月に検出されたイ-18のカドミウムを除き、環境基準値 に適合した。

- ・VOCの検出状況:キャッピングシート撤去後、N地区西側で一時的な濃度上 昇が認められた。雨水浸透により地下水が涵養されたことに伴う過渡的な現象 と考えられる。環境基準の早期達成に向けて、適切に対策を講じられるよう、 注視していく必要がある。
- ・その他の項目の検出状況:前年度から超過が継続していたイ-5のダイオキシン類が、8月以降環境基準に適合した。
- (2) 周辺表流水
 - •1,4-ジオキサンの検出状況:公共用水域では環境基準値超過地点なし。北調整 池は環境基準値の約1.3倍程度で推移し超過が継続している。
 - ・重金属類の検出状況:公共用水域については、環境基準超過地点なし。平成26年1月に南調整池浸出水において総水銀が基準値超過。
 - VOCの検出状況:環境基準超過地点なし。

平成26年度環境(定期)モニタリング計画(水質、大気)について(案)

- 大気モニタリングについて
 - 1 平成25年度大気モニタリング計画からの変更点 廃止する。
 - 2 変更理由

廃棄物の掘削作業が平成 24 年度で完了し、その後 1 年間経過観察を行っても異常 が認められないこと

- 〇 水質モニタリングについて:別紙3のとおり
 - 1 平成25年度水質モニタリング計画からの変更点
 - (1) 測定項目からエチルベンゼンを削除すること。
 - (2) 南調整池浸出水における**総水銀及びアルキル水銀**の測定頻度を**年 10 回から年4回** に戻すこと。
 - 2 変更理由
 - (1) エチルベンゼンについて

エチルベンゼンは有機溶剤に含まれており、現場に投棄された廃棄物による汚染拡散がないことの指標として、これまでモニタリングを継続してきた。場内中央部及び西側県境部を中心に検出されていたが、廃棄物の掘削作業が完了した平成 24 年度以降は逓減傾向にあり、現場に投棄された廃棄物による汚染拡散が認められないこと。(環境基準項目に該当しない)。

(2) 南調整池浸出水における総水銀及びアルキル水銀の測定頻度について 平成22年度に、掘削作業の影響と思われる環境基準の超過が継続したため、平成23年度以降は測定頻度を年4回から年10回(冬期を除く毎月)に増やした。その結果、 平成23、24年度に本格的に掘削作業が行われても継続した環境基準の超過が確認されなかった。

廃棄物の掘削作業も完了していること、同地点に設けられているため枡からの越流により浸出水が外部の公共用水域に直接流入するおそれが少ないことの2点から、測定頻度を通常の項目同様年4回に戻し監視しても支障がないと判断したこと。(検出状況に変化があった場合は測定頻度を再度増やす等、柔軟に対応する。)

平成26年度事業計画について

1 1.4-ジオキサン対策

- ・ 重点的に1,4-ジオキサン高濃度エリア(A-B地区)を浄化するため、土壌の掘削(法面整形)、キャッピング撤去、貯水池設置による積極的な洗い出しを行う。
- ・ 継続して既設の揚水井戸から揚水を実施し、地下水の浄化を図る。

2 N地区污染土壤対策

N地区の汚染残留区画については、注水及び揚水の増量により洗い出しを強化するとともに、今後、必要に応じて、揚水井の増設などの対策を講じ、土壌浄化の早期完了を目指す。

3 A地区県境部遮水壁工

今年度から工事を行っている A 地区の県境部遮水壁工を早期に完成させ、A地区浄化の際に発生する汚染地下水が青森県の事業に影響を及ぼさないようにする。

4 跡地整形業務

岩手県側地下水を県境部から東側に自然流出させる工事に着手する(跡地整形業務は、 平成29年度まで継続)。

平成26年度 青森・岩手県境不法投棄現場の原状回復対策協議会開催日程(案)

- ·第61回原状回復対策協議会 5月17日(土曜日)
- ·第62回原状回復対策協議会 9月20日(土曜日)(現地視察予定)
- ·第63回原状回復対策協議会 3月7日(土曜日)

【提案】

平成26年度は年間3回の開催とする。

なお、必要に応じて開催日の変更又は追加で開催することがある。

別紙1

平成25年度大気モニタリング結果

総括表-1 (平成25年度結果表)

調査地点	時期		窒素(単位	立:ppm)	浮	遊粒子状物質	(単位:m	g/m³)	ダイオキシン類 (単位:pg−TEQ/㎡)		重金属類(単位: μ g/m³)					
			日平均值	Ī		日平均值		最大値	7日間平均値	カト゛ミウム	鉛	ひ素	マンカ゛ン	水銀		
イ-1	春 期	0. 001	~	0. 005	0. 010	~	0. 026	0.069	0. 0061	< 0.0001	0. 010	0. 0028	0. 079	0. 0018		
場内	夏期	0. 001	~	0. 004	0. 005	~	0. 014	0. 043	0. 0033	0. 0002	0. 0018	0. 0014	0. 002	0. 0021		
(発生源環境)	秋 期	0. 002	~	0.006	0. 003	~	0. 013	0. 027	0. 0033	< 0.0001	0. 0021	0. 0009	0. 002	0. 0018		
	冬期	0. 001	~	0. 004	0. 004	~	0. 015	0. 155	0. 0036	0. 0001	0. 0052	0. 0011	0. 0089	0. 0016		
	平均								0. 0041	0. 0001	0. 0048	0. 0016	0. 023	0. 0018		
1-2	春 期	0. 001	~	0. 002	0. 011	~	0. 026	0. 089	0. 0065	< 0.0001	0. 0056	0. 0019	0. 027	0. 0018		
二戸市浄法寺町	夏期	0. 001	~	0.003	0. 008	~	0. 016	0. 038	0. 0042	0. 0001	0. 0022	0. 0002	0. 002	0. 0017		
馬洗場地内	秋 期	0. 001	~	0. 001	0. 008	~	0. 015	0.050	0. 0033	< 0.0001	0. 0014	0. 0002	0. 0019	0. 0015		
(沿道環境)	冬期	0. 001	~	0.003	0. 008	~	0. 025	0. 127	0. 0036	< 0.0001	0. 0045	0. 0010	0. 0050	0. 0015		
	平均								0. 0044	0. 0001	0. 0034	0. 0008	0. 0090	0. 0016		
イ-3	春期	0. 002	~	0.003	0. 010	~	0. 025	0. 056	0. 0056	< 0.0001	0. 0057	0. 0016	0. 022	0. 0018		
二戸市	夏期	0. 001	~	0.003	0. 005	~	0. 015	0. 050	0. 0052	0. 0002	0. 0021	0. 0003	0. 0024	0. 0020		
根森地内	秋 期	0. 000	~	0. 001	0. 004	~	0. 015	0. 072	0. 0041	< 0.0001	0. 0019	0. 0002	0. 0022	0. 0021		
(一般環境)	冬 期	0. 001	~	0.003	0. 007	~	0. 024	0. 196	0. 0040	0. 0001	0. 0063	0. 0010	0. 0052	0. 0015		
	平均								0. 005	0. 0001	0. 0040	0. 0008	0.0080	0. 0019		
環境基準(日平均		0.04~	⋅0.06又は・	それ以下		0.10以下		0.20以下								
環境基準(年平均									0.6以下							
指針值(年平均														0.04以下		

⁽注) 「日平均値」は1時間値の日平均値、「最大値」は1時間値の最大値、測定値に付記した「<」は定量下限値未満であることを示す。

総括表-2 (平成25年度結果表)

1401D3X 2 \ 1 1			41HXIVEV					
l 調査地点	時	期		有害大気汚染物質	〔濃度(単位:mg/mឺ)		悪臭物質	(単位:mg/m³)
	₽ 可	777	ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	シ゛クロロメタン	トルエン	キシレン
	春	期	0. 0003	0. 0001	< 0.0001	0. 0024	0. 0039	0. 0028
イ-1a	夏	期	0. 0003	< 0.0001	0. 0002	0. 00040	0. 0027	0. 0012
場内境界	秋	期	0. 0002	< 0.0001	< 0.0001	0. 00019	0. 0005	0. 0002
県境北側	冬	期	0. 0005	< 0.0001	< 0.0001	0. 00031	0. 0009	0. 0003
	平	均	0. 0003	0. 0001	0. 0001	0. 0008		
	春	期	0. 0003	< 0.0001	< 0.0001	0. 0027	0. 0044	0. 0008
イ-1b	夏	期	0. 0004	< 0.0001	< 0.0001	0. 0018	0. 015	0. 0019
北調整池	秋	期	0. 0008	< 0.0001	< 0.0001	0. 00016	0. 0052	0. 0031
	冬	期	0. 0004	< 0.0001	< 0.0001	0. 00030	0. 0009	0. 0002
	平	均	0. 0005	< 0.0001	< 0.0001	0. 0012		
	春	期	0. 0003	< 0.0001	< 0.0001	0. 0082	0. 0063	0. 0003
イ-1c	夏	期	0. 0003	< 0.0001	< 0.0001	0. 00040	0. 0011	0. 0006
南調整池	秋	期	0. 0002	< 0.0001	< 0.0001	0. 00019	0. 0005	0. 0002
	冬	期	0. 0004	< 0.0001	< 0.0001	0. 00048	0. 0010	0. 0002
	平	均	0. 0003	< 0.0001	< 0.0001	0. 0023		
環境基準(年平均		•	0.003以下	0. 2以下	0. 2以下	0.15以下		
規制基準(敷地境	界線)					38 (10ppm) 以下	4.4(1ppm)以下

⁽注) 測定値に付記した「<」は定量下限値未満であることを示す。

水質モニタリング結果概要(H25年度)

東側周辺部について、6-2-キ埋没により、廃止としていたイ-1で5月から7月まで採水。**8月以降はイ-1渇水により、6-2-ク**で採水。

(1)1,4-ジオキサンの検出状況

- ①地下水(20地点(イ-10除く)):複数の地域で環境基準値超過が継続している。いずれの地点でも濃度の推移に大きな変動なし(B地区(環境基準値の10倍程度)、J地区(環境基準値の8倍程度)、K地区(環境基準値の5倍程度)が比較的高い濃度で推移している)。
- ②周辺表流水(11地点):公共用水域では環境基準値超過地点なし。北調整池は環境基準値の約1.3倍程度で推移し超過が継続している。

表1-1:地下水における1	/-ジオキサン漕 庫[mg/L]の測定結里
- なーーし 地 じんにんけんし	4 フルイリノ帰冷し	

地域	地区	地点名	H23年度超過	H24年度超過	H25年度超過	H25.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H26.1月	基準値	備考
西	K	イ-24	有	有	有	0.23	0.26	0.19	0.18	0.48	0.40	0.21	0.22	0.21	0.19		
側		イ-20	有	無	有	0.058	0.074	0.07	0.029	0.058	0.13	0.076	0.068	0.068	0.078		
早 見 境 部	N	イ-21	有	有	有	0.09	0.09	0.065	0.19	0.081	0.13	0.14	0.095	0.06	0.075		
部	IN	イ-22	無	無	無	0.017	0.013	0.016	0.02	0.019	0.018	0.011	0.014	0.011	0.01		
		イ-8	有	無	無	0.025	0.028	0.035	0.023	0.029	0.041	0.032	0.022	0.026	0.021		
	I ┏	イ-3	有	有	有	0.32	0.39	0.44	0.35	0.10	0.16	0.12	0.07	0.32	0.28		
場	' 	イ-5	無	無	無	0.012	0.006	0.005	<0.005	0.008	0.013	0.021	0.014	0.010	0.006		
内		1 −1	有	有	有		0.08	0.46	0.58								・5月以降6-②-キ埋没により、廃止として
中中	В	イ-1(6-2)-キ)		有	有	2.3											いたイ-1で採水。 ・8月以降イ-1渇水により、6-②-クで採
央 部		イ-1(6-②-ク)			有					0.17	0.98	0.86	0.64	0.44	0.61		水。
	G	イ-4	有	有	有	0.016	0.071	0.034	0.052	0.12	0.10	0.11	0.065	0.08	0.092		
		イ-6(イ-6-1)	有	有	有	0.025	0.37	0.29	0.086	0.47	0.49	0.46	0.67	0.80	0.48	0.05	
	J	イ-12	有	有	有	0.042	0.045	0.061	(欠測)	0.017	0.011	0.025	0.027	0.037	0.019		
		イ-15	有	有	有	0.31	0.56	0.63	0.12	0.54	0.68	0.20	0.48	0.45	0.45		
	0	イ-13	有	有	有	0.043	0.046	0.042	0.039	0.036	0.051	0.044	0.032	0.028	0.034		
東		イ-17	無	無	無	0.041	0.038	0.042	0.041	0.038	0.042	0.030	0.04	0.038	0.043		
側	Н	イ-9	有	有	有	0.047	0.056	0.06	0.056	0.050	0.058	0.049	0.061	0.051	0.051		
周		イ-18	有	有	無	0.05	0.049	0.049	0.048	0.048	0.049	0.046	0.006	0.025	0.034		
<u>辺</u> 部	↓ ₩	イ-10	-	-	-												
교	地 区	イ-11	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	外	イ-14	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
		イ-16	無	無	無	0.005	0.007	0.007	0.008	0.013	0.013	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
		イ-19	無	無	無	0.016	0.009	0.015	0.010	0.010	0.011	0.011	0.008	0.006	0.007		

表1-2:周辺表流水における1,4-ジオキサン濃度[mg/L]の測定結果

	地点	H23年度超過	H24年度超過	H25年度超過	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	基準値	備考
	直近の沢No.1	無	無	無	0.012	0.014	0.019	0.015	0.017	0.018	0.016	0.015	0.015	0.017		
公	直近の沢No.2	無	有	無	0.031	0.02	0.012	0.009	0.017	0.025	0.016	0.017	0.018	0.015		
共	小端川上流	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
用	小端川下流	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
水	境沢上流	無	無	無	<0.005	0.012	0.015	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
域	溜池	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	< 0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	
	十文字川支流	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
雷	北調整池	有	有	有	0.11	0.079	0.045	(欠測)	0.037	0.065	(欠測)	0.062	(欠測)	(欠測)		
整	南調整池	有	無	無	0.019	0.043	0.036	0.029	<0.005	0.008	0.008	0.009	0.008	0.021		
池	北調整池浸出水	有	有	有	0.07	0.061	0.035	0.015	0.031	0.046	0.028	0.036	0.030	0.047		
	南調整池浸出水	無	無	無	0.008	0.008	0.010	0.013	0.015	0.02	0.014	0.011	0.009	0.026		

環境基準を超過した観測値

定量下限値を超えて検出された観測値

- (2)重金属類の検出状況
 ①地下水(20地点(イ-10除く)):12月分に検出されたイ-18のカドミウムを除き、環境基準値に適合した。
 ②周辺表流水:公共用水域については、環境基準値超過地点なし。平成26年1月に南調整池浸出水において総水銀が基準値を超過した。

表2-1:地下水における重金属類濃度[mg/L]の測定結果

						1 7)(1-0517 0			リツ州化和木					
地域	地区	地点名	測定項目	H24.5月	8月	10月	12月	H25.1月	5月	8月	10月	12月	H26.1月	基準値
	K	イ-24	超過項目なし											
	N	イ-20	鉛	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.002	<0.002	<0.002		0.01
西側県境部		イ-21	カドミウム	0.0073	0.0018	0.011	0.0007		0.0004	0.0007	<0.0003	<0.0003		0.003
			鉛	0.013	<0.002	0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		0.01
		イ-22	超過項目なし											
		イ-8	超過項目なし											
	F	イ-3	超過項目なし											
		イ-5	超過項目なし											
場内中央部	В	イ-1 (6-2-キ) (6-2-ク)	超過項目なし											
			+7.10 +7 17 4-1											
	G	1-4	超過項目なし											
	J	イ-6(イ-6-1)												
		イ-12	超過項目なし											
		イ-15	カドミウム	0.0008	0.0007	0.0068	<0.0003		0.0008	0.0006	0.0007	<0.0003		0.003
	0	イ-13	超過項目なし											
		イ-17	超過項目なし											
	Н	イ-9	超過項目なし											
東側周辺部	地	イ-18	カドミウム	0.0003	0.0008	0.0068	0.0006		0.0005	0.0004	0.0024	0.0034		0.003
人以为2000	区 外		総水銀	<0.0005	0.0007	<0.0005	0.0006		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		0.0005
		イ-10	測定項目なし											
		イ-11	超過項目なし											
		イ-14	超過項目なし											
		イ-16	超過項目なし											
		イ-19	超過項目なし											

表2-2:周辺表流水における重金属類濃度[mg/L]の測定結果

		_	77-	<u>- ー・/ロ」 ベニャン</u>			次,从 人 人 L 1 1 6 /						
	地点	測定項目	H24.5月	8月	10月	12月	H25.1月	5月	8月	10月	12月	H26.1月	基準値
	直近の沢No.1	超過項目なし											
公	直近の沢No.2	超過項目なし											
共	小端川上流	超過項目なし											
用用	小端川下流	超過項目なし											
水	境沢上流	超過項目なし											
域	溜池	超過項目なし											
	十文字川支流	超過項目なし											
	北調整池	超過項目なし											
調整	南調整池	超過項目なし											
治	北調整池浸出水	超過項目なし											
, _	南調整池浸出水	超過項目なし	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0006	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0016	0.0005

(3)VOCの検出状況

①地下水(20地点(イ-10除く)): キャッピングシート撤去後、N地区西側で一時的な濃度上昇が認められた。雨水浸透により地下水が涵養されたことに伴う過渡的な現象と考えられる。 環境基準の早期達成に向けて、適切に対策を講じられるよう、注視していく必要がある。

ア 西側県境部(4地点): イ-20、イ-21で複数項目が環境基準超過継続。

イ 場内中央部(6地点):超過項目数が少なくなり、おおむね減少傾向にある。

ウ 東側周辺部(10地点):平成24年度はベンゼンの超過が見られたが、今年度は環境基準超過項目なし。

②周辺	表流	水:環境	意基準超過地点な	し。		ā	長3−1:地下水に	おけるVOC濃度[mg/	口の測定結果						
地域	地区	地点名	測定項目	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	11月	12月	H26.1月	2月	基準値
	K	イ-24	ジクロロメタン	0.065	0.007	(欠測)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		0.02
	N	イ-20	1,2-ジクロロエタン	<0.0004	< 0.0004	<0.0004	<0.0004	0.024	0.13	0.085	0.13	0.11	0.18	0.12	0.004
			1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.10	0.86	0.56	0.92	0.65	1.4	0.88	0.04
			ベンゼン	<0.001	< 0.001	0.002	0.002	0.14	0.82	0.71	1.2	0.97	1.9	0.98	0.01
			トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.044	0.23	0.19	0.22	0.1	0.19	0.19	0.03
			テトラクロロエチレン	0.0010	0.0008	<0.0005	<0.0005	0.0026	0.033	0.0041	0.033	0.013	0.0074	0.051	0.01
来加惧较如	,		塩化ビニルモノマー	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.0002	0.032	0.11	0.076		0.18			0.002
西側県境部	,	イ-21	1,2-ジクロロエタン	0.0017	0.0031	0.0011	0.0005	0.0041	0.0068	0.0074	0.013	0.0056	0.0096	0.0089	0.004
			1,2-ジクロロエチレン	0.0120	0.0180	0.0070	0.0040	0.024	0.032	0.031	0.071	0.029	0.059	0.058	0.04
			トリクロロエチレン	0.0060	0.010	0.004	0.003	0.016	0.012	0.031	0.048	0.16	0.035	0.0031	0.03
			テトラクロロエチレン	0.0035	0.0100	0.0024	0.0024	0.0089	0.0093	0.028	0.034	0.0082	0.016	0.018	0.01
			ベンゼン	0.009	0.015	0.007	0.007	0.022	0.046	0.053	0.07	0.027	0.061	0.051	0.01
			塩化ビニルモノマー	0.008	0.0036	0.0008	0.0004	0.0079	0.023	0.016		0.0081			0.002
		イ-22	超過項目なし												
	7	イ-8	超過項目なし												
	F	イ-3	超過項目なし												
		イ-5	超過項目なし												
		イ-1						0.003							
	, В	イ-1(6-2)-キ		<0.001	(欠測)	0.020	0.011								0.01
場内中央部	,	1-1(6-2)-2	7)						<0.001	<0.001		<0.001			
	G	イ-4	テトラクロロエチレン	<0.0005	0.0006	0.018	0.0049	0.0005	0.0007	<0.0005		0.0011			0.01
	J		テトラクロロエチレン	0.26	0.083	0.029	0.0005	<0.0005	0.0042	0.017		0.0029			0.01
		イ-6(イ-6-	1) ジクロロメタン	0.12	0.010	0.020	<0.002	<0.002	0.004	0.011		0.01			0.02
			塩化ビニルモノマー	0.0003	<0.0002	0.002	0.011	0.0015	0.0030	0.0020		0.0030			0.002
	7	イ-12	ベンゼン	0.028	< 0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001			0.01
		イ-15	超過項目なし												
	0	イ-13	ベンゼン	0.035	0.041	0.022	0.007	0.004	0.003	0.002		0.002			0.01
		イ-17	超過項目なし												
	Н	イ-9	超過項目なし												
古伽田竹竹	,地	イ-18	超過項目なし												
東側周辺部	区	イ-18	超過項目なし												
	外	イ-10	測定項目なし												
		イ-11	超過項目なし												
		イ-14	超過項目なし												
		イ-16	超過項目なし												
		イ-19	超過項目なし												
	-					+ -		ーシルフン・コーサー							
	地点		測定項目	H24.5月	H24.8月		3−2∶周辺表流水I 12月 ┃	<u>におけるVOC濃度[m</u> H25.5月	g/L]の測定結果 8月	10月	11月	12月	H26.1月	Г	基準値
		fの沢No 1	超過項目なし	1124.07	1127.0/]	10/3	1273	1120.07	ОД	10/7	11/3	127]	1120.17		坐十 胆
			超過項目なし												

	地点	測定項目	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	11月	12月	H26.1月	基準値
	直近の沢No.1		,		, , , , ,	1-73					. = , ,		<u> </u>
公	直近の沢No.2	超過項目なし											
共	小端川上流	超過項目なし											
用	小端川下流	超過項目なし											
水	境沢上流	超過項目なし											
域	溜池	超過項目なし											
	十文字川支流	超過項目なし											
=B	北調整池	超過項目なし											
		超過項目なし											
	北調整池浸出水												
	南調整池浸出水	超過項目なし											

(4)硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の検出状況

①地下水(21地点): 東側周辺部を中心に環境基準値超過が継続している。いずれの地点でも濃度の推移に大きな変動なし。

②周辺表流水:

ア 公共用水域:大きな濃度の変動はないが、直近の沢No.1で環境基準値超過が継続している。

イ 調整池:大きな濃度の変動はないが、北調整池、南調整池浸出水で環境基準値超過が継続している。

表4-1:地下水における硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素濃度の測定結果(単位mg/L)

			五五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	世下が上のいる	阴政迁至杀及	少型明酸性至系	(版及の別と和	未(早世IIIg/ L/			
地域	地区	地点名	H24.5月	8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	12月	基準
西	K	イ-24	<1	<1	(欠測)	6	3	20	6	7	
側県	N	イ-20	1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
境		イ-21	3	1	<1	1	<1	<1	<1	<1	
境 部		イ-22	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	1
		イ-8	1	1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	i
場	F	イ-3	<1	<1	<1	<1	<1	16	<1	<1	
内		イ-5	<1	<1	<1	<1	<1	1	<1	<1	
中	В	イ-1(6-2-キ)		(欠測)	(欠測)	<1	(欠測)				
一 央		イ-1(6-2)-ク)	(欠測)					2	<1	(欠測)	
部	G	イ-4	<1	1	14	8	<1	1	<1	<1	
	J	イ-6(イ-6-1)	(欠測)	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	10
		イ-12	15	15	17	35	<1	12	9	6	10
		イ-15	1	11	<1	<1	<1	<1	1	<1	
	0	イ-13	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
東		イ-17	39	41	41	43	49	48	49	47	
側	Н	イ-9	1	1	<1	<1	1	1	1	1	
周		イ-18	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
辺部		イ-10	19	28	14	28	30	29	27	29	
部	 地区外	イ-11	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
	世紀第	イ-14	2	2	2	<1	2	2	2	2	
		イ-16	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
		イ-19	35	28	25	18	36	28	31	37	

表4-2· 国辺表流水における硝酸性容表及び西硝酸性容表濃度の測定結里(単位mg/L)

			辺衣流水にあり			2. 米 辰 及 切 別 足 に				
	地点	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	12月	基準
	直近の沢No.1	10	10	9	10	12	11	12	11	
公	直近の沢No.2	3	1	<1	6	5	7	3	4	
共	小端川上流	2	1	1	3	3	3	2	3	
用用	小端川下流	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
水	境沢上流	2	2	1	2	4	1	1	3	
域	溜池									10
	十文字川支流									
= ⊞	北調整池	5	(欠測)	(欠測)	19	18	23	(欠測)	(欠測)	
調整	南調整池	2	4	2	3	6	3	4	6	
池	北調整池浸出水	4	4	<1	12	11	15	1	3	
76	南調整池浸出水	16	15	8	17	20	17	17	18	
-	·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-5-					-

(5)その他項目の検出状況

- ①地下水(20地点(イ-10除く)):前年度から超過が継続していたイ-5のダイオキシン類が、8月以降環境基準に適合。
- ア 西側県境部(4地点):超過項目なし。
- イ 場内中央部(6地点): イ-6で8月にふっ素が環境基準値を超過したが、以降は環境基準に適合。 ウ 東側周辺部(10地点): 超過項目なし。
- ②周辺表流水:公共用水域、調整池いずれも環境基準超過項目なし。

表5-1:地下水におけるその他項目の測定結果(単位mg/L。ただし、ダイオキシン類はpg-TEQ/L)

地域	地区	地点名	測定項目	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	12月	基準値	備考
	K		超過項目なし				1-73						1710 3
	N		超過項目なし										
西側県境部			超過項目なし										
			超過項目なし										
		イ-8	超過項目なし										
	F	イ-3	超過項目なし										
		イ-5	ふっ素	<0.1	1.1	1.7	0.1	0.5	0.3	<0.1	0.1	0.8	
			ダイオキシン類	0.52	3.4	12	45	7.0	0.2	0.8	1.0	1	
場内中央部	В	イ-1		1.4	(欠測)			(欠測)					
		イ-1(6-2-キ)				(欠測)	<0.1] 1	
		イ-1(6-2-ク)							0.8	(欠測)	(欠測)		
	G	イ-4	超過項目なし										
	J	イ-6(イ-6-1)	ふっ素		0.1	0.2	0.3	0.3	1.0	0.2	0.4	0.8	
		イ-12	超過項目なし										
		イ-15	超過項目なし										
	0	イ-13	超過項目なし										
		イ-17	超過項目なし										
	Н	イ-9	超過項目なし										
東側周辺部		イ-18	超過項目なし										
	区	イ-10	超過項目なし										
	外		超過項目なし										
			超過項目なし										
			超過項目なし										
		イ-19	超過項目なし										
	1,1		70/25-7-0				他項目の測定約					++ >#- 1-1-	1.444->
===	地点		測定項目	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	12月	基準値	備考
	近の湯		超過項目なし										
	近の沙山		超過項目なし										
	小端川		超過項目なし										
	小端川		超過項目なし										
	境沢」		超過項目なし										
	溜池 -文字川		超過項目なし超過項目なし										
	<u> </u>		超過項目なり										
			超過項目なり										
	南調整		超過項目なし										
			超過項目なし										

表6: 底質分析結果一覧表(H25.7(年1回)): 環境基準超過地点なし。

	分析項目	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川 上流	境沢上流	北調整池	南調整池	環境基準
1	カドミウム	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
2	全シアン	ND (<0.1)	検出されないこと					
3	鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
4	六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05
5	砒素	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	0.01
6	総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
7	アルキル水銀	ND (<0.0005)	検出されないこと					
8	PCB	ND (<0.0005)	検出されないこと					
9	ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
10	四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
11	1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
12	1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
13	シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
14	1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1
15	1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
16	トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03
17	テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01
18	1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
19	チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
20	シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
21	チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
22	ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
23	セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01
24	ふっ素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	0.1	0.8
25	ほう素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
26	有機燐	ND (<1)	検出されないこと					
27	ダイオキシン類(pg-TEQ/g)	0.39	2.3	0.19	6.2	3.2	31	150
28	熱灼減量(%-dry)	26	15	11	26	11	8.2	_

備考1)ダイオキシン類は、水底の底質における環境基準を比較対象とする。

備考3) ■:環境基準を超過した観測値 ■:環境基準設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

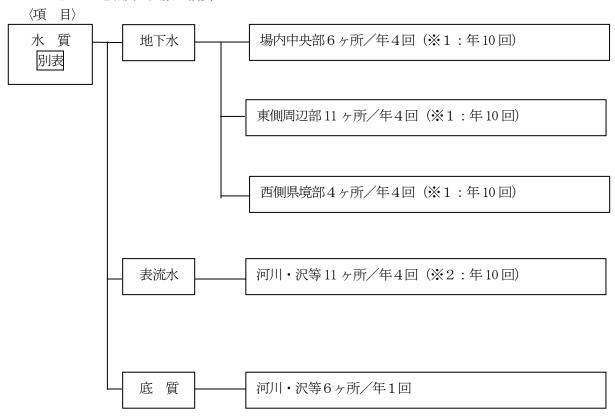
備考2)単位は特に記載がない限り、mg/L

平成26年度環境(定期)モニタリング計画(案)

1 目的

不法投棄現場及びその周辺における汚染状況を把握するとともに、不法投棄物撤去処理事業の実施に伴う周辺地域環境への影響等を監視する。

2 モニタリング地点及び回数の概要



- (※1) 地下水の一部項目 (1,4-ジオキサン、pH、電気伝導度) は、冬期間を除き毎月実施する。
- (※2) 表流水の一部項目(1,4-ジオキサン、VOC、pH、電気伝導度)は、冬期間を除き毎月実施する。

3 モニタリングの時期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水												
	0	0	0	0	0	0	0	\circ	0	\circ		
質												

※水質における全項目調査(年4回:◎部分)は、青森県と調整の上実施する。

水質モニタリング計画

項目	調査地	点名	調査 地点数	調査項目	調査頻度
	場内中央部	イー1 イ-3~ イ-6、	6ヶ所	生活環境項目1項目 健康項目27項目 要監視項目2項目 その他2項目(塩化物イオン、ダイオキシン類)	年4回 (5、8、10、12月)
	〈韶	イ-8		生活環境項目1項目 (pH) 健康項目1項目 (1,4-ジ オキサン) その他1項目 (電気伝導度)	年10回
地 下	東側	√ −9		① ※イー10 は硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素のみ	年4回 (5、8、10、12月)
水	東側周辺部	~ イー19	11ヶ所	② ※イー10は実施しない。	年10回 (冬期を除く毎月)
	西側県境部	イ-20 ~イ-	4ヶ所	①	年4回 (5、8、10、12月)
	部	22、イ -24	1979	2	年 10 回 (冬期を除く毎月)
	直近の沢 N 直近の沢 N	o . 2	河川・沢等	生活環境項目 5 項目 健康項目 15 項目 要監視項目 2 項目 その他 2 項目	年4回 (5、8、10、12月)
表	小端川上流 小端川下流 境沢上流		5ヶ所	生活環境項目 1 項目 (pH) 健康項目 12 項目 (VOC、1, 4-ジオキサン) 要監視項目 2 項目 (トルエン、キシレン) その他 1 項目	年10回 (冬期を除く毎月)
流	ため池 十文字川支	流	ため池等 2ヶ所	4	年 10 回 (冬期を除 く毎月実施)
水			放流水	3	年4回 (5、8、10、12月)
	雨水調整池	Ţ	2ヵ所	4	年10回 (冬期を除く毎月)
	(北及び南	î側)	浸出水 放流 1 ヵ所 回収 1 ヵ所	同上	同上
底質	行		河川・沢等 4ヶ所 雨水調整池 2ヵ所	土壌汚染環境基準項目、 ダイオキシン類 熱灼減量	年1回

検査項目等一覧表

※場内及び敷地境界設置の観測井における地下水位は、揚水井戸を除き全地点調査を実施。

次场/1人U	敷地境界設直の観測开における地 □	1 「八八八八八八八八	物小井戸で	一体で生地点	制度を表別	也。 T
区 分	項目	1	2	3	4	底 質
生活環境	рН	_	0		0	
項目	BOD			0		
	COD			\circ		
	SS	0		0		
	全窒素			\circ		
	全燐			\circ		
健康項目	カドミウム	0		0		•
	全シアン	\circ		\circ		•
	鉛	0		0		•
	六価クロム	0		0		•
	砒素	0		0		•
	総水銀	0		0		•
	アルキル水銀	0		0		•
	PCB	0		0		•
	ジクロロメタン	0			0	•
	四塩化炭素	0			0	•
	1,2-ジクロロエタン	0			0	•
	塩化ビニルモノマー	0				
	1,1-ジクロロエチレン	0			0	•
	1,2-ジクロロエチレン	0				
	シス-1,2-ジクロロエチレン				0	•
	1,1,1-トリクロロエタン	0			0	•
	1,1,2-トリクロロエタン	0			0	•
	トリクロロエチレン	0			0	•
	テトラクロロエチレン	0			0	•
	1,3-ジクロロプロペン	0			0	•
	チウラム	0		0		•
	シマジン	0		0		•
	チオベンカルブ	0		0		•
	ベンゼン	0			0	•
	セレン	0		0		•
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0		0		
	ふっ素	0		0		•
	ほう素	0		0		•
	1,4・ジオキサン		©		0	
要監視項	トルエン	0			0	
目	キシレン	0			0	
その他の	ダイオキシン類(Co-PCBs を含む)	0		0		0
項目	電気伝導度		0		0	
	塩化物イオン	0		0		
	熱灼減量					0
	有機リン ●EDは、土壌汚染に係る環境基準					•

[・]底質の●印は、土壌汚染に係る環境基準が設定されている。

				(1)-6:	周辺表	流水()	区成25년	年11月)			
		直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	
	採取日	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	
	采取時間 前日天候	9:15 =	8:45 晴	8:05 晴	7:35 晴	9:03 晴	10:03 晴	7:53 =	11:40 =	9:35 =	11:50 =	9:45 晴	
	当日天候	<u>晴</u> 晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴 晴	<u>晴</u> 晴	晴 晴	<u>晴</u> 晴	晴	
	気温(℃)	10.8	9.5	6.7	3.9	10.5	11.2	6.6	12.2	10.2	12.2	10.9	
	点の周辺状況	山林	山林	山林						平原及び山地	山林	平原及び山地	
	采水方法	SUS柄杓		直接	直接	SUS柄杓		直接	SUS柄杓	SUS柄杓	直接	SUSバケツ	
	采取量(I) 水位(m)	0.7	22.6	0.7	0.7	22.6	0.7	0.7	22.6	22.6	0.8	0.8	
	水温(°C)	9.3	8.1	7.8	7.0	8.4	10.0	7.5	8.8	8.7	11.2	11.2	
	pН	7.0	7.1	7.1	7.2	6.9	6.2	7.5	7.2	6.6	6.3	5.9	
電気伝	·導度(mS/m)	32	30	16	8.2	32	19	10	60	130	46	38	
	臭気	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
-	油膜 濁り	無無	無微濁	無無	無無	無無	無無	無無	無微濁	無無	無無	無無	
	色	無	白褐色	無	無	無	無	無	淡褐色	無	無	無	
	流入	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
#	寺記事項										流量:0.04L/s		
検	全項目	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下 流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	環境基準
	バミウム												0.003
	全シアン												検出されないこと
	公又はその化合物												0.01
	<u>た価クロム</u> 此素												0.05 0.01
6 糸	<u>以来</u> 総水銀											<0.0005	0.0005
	アルキル水銀											ND	検出されないこと
	РСВ												検出されないこと
	ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002						<0.002	<0.002	<0.002	0.02
	<u> 四塩化炭素</u>					<0.0002				<0.0002			0.002
	2-ジクロロエタン 1-ジクロロエチレン	<0.0004 <0.002	<0.0004 <0.002	<0.004	<0.0004	<0.0004 <0.002	<0.004	<0.0004 <0.002	<0.0004 <0.002	<0.0004 <0.002	<0.0004 <0.002	<0.0004	0.004 0.02
	ス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.04
14 1,	1, 1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005			< 0.0005	<0.0005	<0.0005	< 0.0005	1
	1, 2-トリクロロエタン					<0.0006							
	リクロロエチレン					<0.002							0.03
	トラクロロエチレン 3-ジクロロプロペン					<0.0005 <0.0002							0.01 0.002
	チウラム	\0.0002	₹0.0002	₹0.0002	\0.0002	₹0.0002	\0.0002	₹0.0002	₹0.0002	₹0.0002	₹0.0002	\0.0002	0.002
	ノマジン												0.003
21 J	Fオベンガルブ												0.02
	ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
23 1	セレン 酸性窒素及び亜硝酸性窒素												0.01
	いる 素												10 0.8
	まう素												1
27 g	イオキシン類(pg-TEQ/L)												1
28 p	H(単位なし)	7.0	7.1	7.1	7.2	6.9	6.2	7.5	7.2	6.6	6.3	5.9	(河川A類型 6.5∼8.5)
29 E													(河川A類型 2)
30 C			3			<1			2	4			(湖沼A類型 3) (河川A類型 25)
32 2	33 全窒素		3							4			(湖沼Ⅱ類型 0.2)
33 =													(湖沼Ⅱ類型 0.01)
34 電	電気伝導度 (mS/m)	32	30	16	8.2	32	19	10	60	130	46	38	通常河川 10程度
	<u> 塩素イオン</u>								1.				飲料水水質基準200
	・ルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	(指針値)0.6
3/12	<u>キシレン</u> エチルベンゼン	<0.04 <0.0001	<0.04 <0.0001	<0.04 <0.001	<0.04	<0.04 <0.0001	<0.04 <0.001	<0.04 <0.0001	<0.04 <0.0001	<0.04 <0.0001	<0.04 <0.0001	<0.04 <0.0001	(指針値)0.4
			v.vuu l	. ∖∪.∪∪∪ [ˈ	1 \U.UUU I	. ∖∪.∪∪∪ [!	. ∖∪.∪∪∪ I	. ∖∪.∪∪∪ I '	. ∖∪.∪∪ U I	. ∖∪.∪∪ U I	. ∖∪.∪∪∪ [!	. ∖∪.∪∪∪ [[. I
38 I						<0.005	<0.005				0.036		0.05
38 工 39 1, 40 塩	. 4-ジオキサン 証化ビニルモノマー 後の値:砒素	0.015	0.017	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.062	0.009	0.036	0.011	0.05 0.002

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測値 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

単位は特に記載がない限り、mg/ℓ

		(2)-6:場	内地下:	水(平成2	5年11月)		
	イー1(6-②-力)	1-2	1 -3	イー4	<u>イー5</u>	イー6(イ-6-1)	<u>/</u> イーフ	イー8	1
	(No.1)	(No.2)	(No.3)	(No.4)	(No.5)	(No.6)	(No.7)	(No.8)	
採取日	11/6		11/6	11/6	11/6	11/6	, ,	11/6	1
採取時間	14:10		13:55	13:45	14:22	12:58		11:17	
前日天候 当日天候	<u></u> 晴		晴晴	晴晴	晴晴	晴 晴		晴晴	
	12.5		13.5	13.3	11.5	13.3		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
採水地点の周辺状況	平原及び山地				平原及び山地			平原及び山地	
採水方法	SUSベーラー		SUSベーラー	SUSベーラー	SUSベーラー	SUSベーラー		SUSベーラー	
採取量(1)	0.6		0.6	0.6	0.6	0.6		0.6	ļ
水位(m) 水温(℃)	7.7 13.0		2.0 17.0	6.4 16.0	8.2 10.3	13.3 12.6		7.8 11.1	
pH	6.9		6.4	8.0	6.6	7.4		6.5	
電気伝導度(mS/m)	190		170	85	150	120		82	1
臭気	無		無	強	無	強		無	
油膜	無		無	無	無	無		無	ļ
濁り 色	微濁 淡褐色		微濁 淡褐色	微濁 淡灰色	微濁 淡褐色	微濁 淡灰色		微濁 薄茶色	Ī
<u> </u>	灰陶巴			淡灰巴	次徇巴	灰灰巴		净 余巴	
特記事項		廃	既設ポンプ停 止のため ベーラーにて 採水	溶剤臭		溶剤臭	廃		
検査項目	イー1(6-②-ク) (No.1)	イー2 (No.2)	イー3 (No.3)	イー4 (No.4)	イー5 (No.5)	イー6(イ-6-1) (No.6)	イー7 (No.7)	イー8 (No.8)	環境基準
1 カドミウム									0.003
2 全シアン									検出されないこと
3 鉛又はその化合物 4 六価クロム		_11-							0.01 0.05
5 砒素							止		0.03
6 総水銀									0.0005
7 アルキル水銀									検出されないこと
8 PCB									検出されないこと
9 ジクロロメタン					<0.002			<0.002	0.02
10 四塩化炭素 11 1, 2-ジクロロエタン		-11			<0.0002 <0.0004			<0.0002 <0.0004	0.002 0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン		井			<0.004		井	<0.002	0.004
13 1, 2-ジクロロエチレン		_/_			<0.004		7	<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン					<0.0005			<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン					<0.0006			<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン					<0.002			<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン 18 1, 3-ジクロロプロペン					<0.0005 <0.0002			<0.0005 <0.0002	0.01 0.002
19 チウラム					\0.0002			\0.0002	0.002
20 シマジン		一戸					==		0.003
21 チオベンガルブ									0.02
22 ベンゼン					<0.001			<0.001	0.01
23 セレン 24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素									0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 25 ふっ素									10 0.8
26 ほう素									1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)									11
28 pH(単位なし)	6.9		6.4	8.0	6.6	7.4		6.5	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD									(河川A類型 2)
30 COD									(湖沼A類型 3) (河川A類型 25)
31 SS 32 全窒素									(河川A類型 25) (湖沼Ⅱ類型 0.2)
33 全燐									(湖沼Ⅱ類型 0.01)
34 電気伝導度 (mS/m)	190		170	85	150	120		82	通常河川 10程度
35 塩素イオン									飲料水水質基準200
36 トルエン									(指針値)0.6
37 キシレン 38 エチルベンゼン									(指針値)0.4 -
39 1, 4-ジオキサン	0.64		0.074	0.065	0.014	0.67		0.022	0.05
40 塩化ビニルモノマー	J.U-T		0.074	0.000	3.017	3.07		0.022	0.002
ろ過後の値:砒素									
ろ過後の値:鉛									
ろ過後の値:カドミウム									
ろ過後の値:総水銀	環境基準を	北かはしょを				┃ ☑過した観測	出 14 14 14	- =7 + 4 + > + > +	▼
	ᇉᇕᇕᆇᄯᄼ	に口 11月11、/ 二住兄	· JULIUE		TO THE WATER	/ 气性见 活川	H 1// 1 J 3/4 1 .	一番に用り ハハノユ し	une νι mor//

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測 単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

				હ	/— to : /a	31 7 <i>7</i> 3 1318							
			1						年11月				
	J	-	イー10										
	15 m =		(W-2)				(W-6)					(W-11)	
	採取日	11/6	_	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	
-	采取時間	12:05		9:50	13:27	10:33	8:23	13:08	10:22	10:52	10:41	11:07	
	前日天候 当日天候	<u>晴</u> 晴		<u>晴</u> 晴	<u>晴</u> 晴	晴 晴	<u>晴</u> 晴	<u>晴</u> 晴	晴 晴	晴 晴	晴 晴	<u>晴</u> 晴	
	ョロへik 気温(°C)	12.2		9.4	12.5	12.0	7.5	11.8	11.5	12.9	12.3	12.4	
	点の周辺状況	山林	平原及び山地		平原及び山地	平原及び山地	ア原及び牧草地		平原及び山地				
	采水方法	SUSベーラー	_	SUSベーラー	SUSベーラー	SUSベーラー	SUSベーラー	SUSベーラー	SUSベーラー	SUSベーラー	SUSベーラー	SUSベーラー	
	采取量(I)	0.6	_	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	
7	水位(m)	0.6	_	1.3	10.2	4.4	3.9	9.6	3.6	7.5	2.3	7.7	
가	火 温(℃)	11.0	_	13.5	13.5	13.0	9.8	11.9	11.2	11.9	13.3	9.6	
	pН	6.3	_	6.9	7.6	6.6	6.1	6.1	6.6	5.8	6.7	5.7	
電気伝	· 導度(mS/m)	22	_	5.0	86	100	22	99	6.0	62	25	55	
	臭気	無	_	無	無	弱	無	無	無	無	無	無	
	油膜	無	_	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
	濁り	微濁		無	微濁	微濁	無	温	無無	無	微濁	無	
特記事項	色	薄茶色 既設ホン		無	薄茶色	薄茶色	無	赤茶色	無	無	薄褐色	無	
行心事多		プ停止			既設ポン			既設ポンプ	既設ポンプ	既設ポンプ	既設ポンプ		
1		のため	当月採		プ停止の ためベー	溶剤臭		停止のため	停止のため	停止のため	停止のため		
1		ベーラー	水無し		ためハー ラーにて	伯州天			ベーラーに				
1		にて採			採水			て採水	て採水	て採水	て採水		
 		<u>√</u>	イー10	√ −11	イ ー12	イ ー1つ	√ _1/	イー1 5	1-16	イ ー1フ	イ _10	√ −10	
検	查項目	-	(W-2)										+
1 14	じっ古ノ	(VV — I)	(vv — 2)	(vv — 3)	(VV — 4)	(8-74)	(vv — 6)	(vv — /)	(vv — 8)	(vv — 9)	(VV — 10)	(VV — I I)	
	ドミウム												0.003 検出されないこと
	又はその化合物												0.01
	価クロム												0.05
5 砒													0.01
6 総	水銀												0.0005
	ルキル水銀												検出されないこと
8 PC													検出されないこと
9 ジ	クロロメタン						<0.002					<0.002	0.02
10 四	塩化炭素						<0.0002					<0.0002	0.002
	2-ジクロロエタン						<0.0004					<0.0004	
	1-ジクロロエチレン						<0.002					<0.002	0.02
	2-ジクロロエチレン						0.010					<0.004	0.04
	1, 1-トリクロロエタン						0.0015					< 0.0005	
	1, 2-トリクロロエタン						<0.0006					<0.0006	
	Jクロロエチレン - 5000= 51. \						0.010					<0.002	0.03
	トラクロロエチレン 3-ジクロロプロペン						0.0049					0.0015	
	・ウラム						<0.0002					<0.0002	
19 チ 20 シ	マジン												0.006 0.003
20 ン 21 チ:	オベンガルブ												0.003
	ンゼン						<0.001					<0.001	0.02
	シピン						\3.001					\3.001	0.01
	性窒素及び亜硝酸性窒素												10
	つ素												0.8
26 ほ													1
27 g/7	オキシン類(pg-TEQ/L)												1
	H(単位なし)	6.3		6.9	7.6	6.6	6.1	6.1	6.6	5.8	6.7	5.7	(河川A類型 6.5∼8.5)
29 BC													(河川A類型 2)
30 CC													(湖沼A類型 3)
31 SS													(河川A類型 25)
	窒素												(湖沼Ⅱ類型 0.2)
33 全		00		F ^	0.0	100	00	00	^	00	O.F.	FF	(湖沼Ⅱ類型 0.01)
34 電気	気伝導度 (mS/m)	22		5.0	86	100	22	99	6	62	25	55	通常河川 10程度
	素イオン												飲料水水質基準200
36 h	シルン												(指針値)0.6 (指針値)0.4
37 キ 38 エ	・シレン チルベンゼン												(打日立丁1旦 / U.4 —
30 I	4-ジオキサン	0.061		<0.005	0.027	0.032	ZO 005	0.48	<0.005	0.040	0.006	0.000	0.05
	4-シオ キザン 化ビニルモノマー	0.001		\U.UU3	0.027	0.032	<0.005	0.40	\0.003	0.040	0.006	0.008	0.05 0.002
	後の値:砒素												0.002
	<u> </u>												
<u> </u>													
	刀値・カドミウ ノ.▮												
ろ過後の	の値:カドミウム の値:総水銀												

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測値 単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

		<u>(4)-6:</u>	西側県境部			
			成25年11			
	イー20	イー21	イー22	イー23	イー24	
15 m. m	(H15-3)	(SW-1)	(SW-2)	(NW-1)	(NW-2)	
採取日 採取時間	11/6 15:00	11/6 15:25	11/6 15:16		11/6 14:33	
前日天候		晴	15:16 晴		晴	
当日天候	晴	晴	晴		晴	
気温(℃)	12.5	10.8	10.5		12.4	
採水地点の周辺り 採水方法		平原及び山地 ホース吐出口より直接	平原及び山地 SUSベーラー		平原及び山地 既設ポンプより直接	
採取量(I)	0.6	0.6	0.6		0.6	
水位(m)	8.1	_	8.2		_	
水温(℃) pH	12.5 6.6	14.8 6.5	11.8 7.0		14.7 6.4	
電気伝導度(mS/		110	49		110	
臭気	弱	弱	弱		弱	
油膜	無	無	無		無	
<u></u> 濁り 色	微濁 淡褐色	微濁 淡褐色	微濁 薄茶色		微濁 淡褐色	
特記事項	灰鸭巴		净尔巴		沙鸭巴	1
19 110 32 30	溶剤臭	ホース設置あ り、吐出口より 採水 薬剤臭	溶剤臭		溶剤臭	
検査項目	イー20 (H15-3)	イー21 (SW-1)	イー22 (SW-2)	イー23 (NW-1)	イー24 (NW-2)	環境基準
1 からウム						0.003
2全シアン3鉛又はその化	全物			廃		検出されないこと 0.01
4 六価クロム	II 170	1		- PE		0.01
5 砒素						0.01
6 総水銀	ΔΠ					0.0005
7 アルキル水 8 PCB	·					検出されないこと 検出されないこと
9 ジクロロメタ	シ <0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
10 四塩化炭素		0.0003	<0.0002	_1-	<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエ		0.013	<0.0004		<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエラ 13 1, 2-ジクロロエラ		<0.002 0.071	<0.002 <0.004		<0.002 <0.004	0.02 0.04
14 1, 1, 1-hリクロロ		0.0056	<0.004		<0.004	1
15 1, 1, 2-トリクロロ		<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
16 トリクロロエチ		0.048	<0.002		<0.002	0.03
17 テトラクロロエチ		0.034	<0.0005		<0.0005	0.01
18 1, 3-ジクロロプロ 19 チウラム	ペン <0.0002	<0.0002	<0.0002	フエー	<0.0002	0.002 0.006
20 シマジン						0.003
21 チオベンガル						0.02
22 ベンゼン	1.2	0.070	<0.001		<0.001	0.01
23 セレン 24 硝酸性窒素及び亜硝酸	生窒素					0.01 10
25 ふっ素						0.8
26 ほう素						1
27 ダイオキシン類(pg-T		C.F.	7.0		6.4	(4)新型(25, 25)
28 pH(単位な 29 BOD	L) 6.6	6.5	7.0		6.4	(A類型 6.5~8.5) (A類型 2)
30 COD						(A類型 2)
31 SS						(A類型 25)
32 全窒素 33 全燐						(湖沼類型Ⅱ 0.2)
33 全燐 34 電気伝導度 (mS	G/m) 100	110	49		110	通常河川 10程度
35 塩素イオン	100	110	70		110	飲料水水質基準200
36 トルエン						(指針値)0.6
37 キシレン						(指針値)0.4
38 エチルベン・ 39 1, 4-ジオキ・		0,10	0.014		0.22	0.05
40 塩化ビニルモノ	マー	0.10	0.014		0.22	0.002
ろ過後の値:	比素					5.002
ろ過後の値						
ろ過後の値:カドミ						
ろ過後の値:総2	N业 区			₩ / - -	<u> </u> !載がない限り、	/ 0

単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 環境基準を超過した観測値 単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 指針値を超過した観測値 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

				(1)-6:	周辺表	流水臼	乒成.25 4	年12月)			
		直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上流		境沢上流	溜池	十文字川 支流		南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	
	採取日 採取時間 前日天候	12/4 10:25 晴	12/4 9:34 晴	12/4 8:42 晴	12/4 7:40 晴	12/4 9:57 晴	12/4 13:30 晴	12/4 8:20 晴	_ 	12/4 11:20 晴	12/4 11:55 晴	12/4 11:40 晴	
採水.	当日天候 気温(℃) 地点の周辺状況	晴 3.3 山林	晴 2.9 山林	晴 -1.3 山林	晴 -3.6 平原及び山地	晴 3.5	晴 7.8 平原及び山地	晴 -1.5	_ _ _ 山林	晴 6.7 平原及び山地	晴 4.0 山林	晴 6.9 平原及び山地	
13671	採水方法 採取量(I) 水位(m)	SUS柄杓 29.0 —	SUS柄杓 8.7 —	直接 29.0	直接 49.4	SUS柄杓 8.7	SUS柄杓 1.4	直接 1.4 —	— — —	SUS柄杓 29.0	SUS柄杓 27.0	SUSバケツ 27.0	
雷気	水温(℃) pH 伝導度(mS/m)	6.0 7.0 31	4.0 7.0 33	4.2 7.0 16	2.7 7.2 8.3	4.0 6.9 39	4.8 6.6 19	4.0 7.4 10	 	5.1 6.7 120	6.5 6.3 48	8.3 5.9 37	
	臭気 油膜 濁り	無無無	無無無	無無無	無無無	無無無	無無無	無無無	_ _ _	無無	無有無	無無無	
	色 流入	無無	無無	無無	無無	無無	無無	無無	_ _	無無	無無	無無	
	特記事項								欠測				
	検査項目	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下 流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	環境基準
1	カドミウム 全シアン	<0.0003 ND	<0.0003 ND	<0.0003 ND	<0.0003 ND	<0.0003 ND				<0.0003 ND	<0.0003 ND	<0.0003 ND	0.003 検出されないこと
3	鉛又はその化合物	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002				<0.002	<0.002	<0.002	0.01
<u>4</u> 5	六価クロム 砒素	<0.02 <0.001	<0.02 <0.001	<0.02 <0.001	<0.02 <0.001	<0.02 <0.001				<0.02 <0.001	<0.02 <0.001	<0.02 <0.001	0.05 0.01
6	総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005				<0.0005		<0.0005	0.0005
<u>7</u> 8	アルキル水銀 PCB	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND				ND ND	ND ND	ND ND	検出されないこと
	ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.02
10	四塩化炭素	<0.0002					<0.0002			<0.0002			0.002
11 12	1, 2-ジクロロエタン 1, 1-ジクロロエチレン	<0.0004 <0.002	<0.0004 <0.002	<0.0004	<0.0004	<0.0004 <0.002	<0.0004 <0.002	<0.0004 <0.002		<0.0004 <0.002	<0.0004 <0.002	<0.0004	0.004 0.1
13	シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004		<0.004	<0.004	<0.004	0.04
14	1, 1, 1-トリクロロエタン 1, 1, 2-トリクロロエタン					<0.0005 <0.0006					<0.0005 <0.0006		0.006
	トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.03
	テトラクロロエチレン 1, 3-ジクロロプロペン					<0.0005 <0.0002					<0.0005 <0.0002		0.01 0.002
	チウラム			<0.0002			√0.0002	\0.0002			<0.0002		0.002
20	シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	< 0.0003	<0.0003				<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
21	チオベンガルブ ベンゼン	<0.002 <0.001	<0.002 <0.001	<0.002 <0.001	<0.002 <0.001	<0.002 <0.001	<0.001	<0.001		<0.002 <0.001	<0.002 <0.001	<0.002 <0.001	0.02 0.01
23	セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		12.00		<0.002	<0.002	<0.002	0.01
	研酸性窒素及び亜硝酸性窒素 ふつ素	11 <0.1	4 <0.1	3 <0.1	<1 <0.1	3 <0.1				6 <0.1	3 <0.1	18 <0.1	10 0.8
26	ほう素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				<0.1	<0.1	<0.1	1
	ダイオキシン類(pg-TEQ/L)pH(単位なし)	0.053	7.0	0.052	0.052	6.9	6.6	7.4		0.062	0.052	0.051	1 (河川A類型 6.5~8.5)
	PH(単位なし) BOD	7.0 <0.5	7.0 1.0	7.0 0.7	7.2 <0.5	0.5	6.6	7.4		6.7 2.4	6.3	5.9	(河川A類型 6.5~8.5)
30	COD	3.4	3.0	3.0	1.3	2.3				6.5		7.1	(湖沼A類型 3)
	SS 全窒素	8 14	<u>3</u> 7.1	3.6	<1 0.88	<1 6.1				2 10	1	<1	(河川A類型 25) (湖沼Ⅱ類型 0.2)
33	全燐	0.015	0.004	0.036	0.003	0.003				0.014			(湖沼Ⅱ類型 0.01)
	電気伝導度 (mS/m) たまノナン	31	33	16	8.3	39 64	19	10		120	48	37	通常河川 10程度
	<u>塩素イオン</u> トルエン	41 <0.06	59 <0.06	9.1 <0.06	6.3 <0.06	64 <0.06	15 <0.06	6.6 <0.06		230 <0.06	59 <0.06	38 <0.06	飲料水水質基準200 (指針値)0.6
37	キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04	<0.04	<0.04	(指針値)0.4
	エチルベンゼン1, 4-ジオキサン	<0.0001 0.015	<0.0001 0.018	<0.0001 <0.005	<0.0001 <0.005	<0.0001 <0.005	<0.0001 <0.005			<0.0001 0.008	<0.0001 0.030	<0.0001 0.009	0.05
40	塩化ビニルモノマー		0.010	₹0.000	\0.000	\0.000	\0.000	\0.000		0.000	0.000	0.000	0.002
ろ過	後の値:砒素												

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測値 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

単位は特に記載がない限り、mg/ℓ

		C	2)-6:場	内地下	水(平成2	5年12日)		
	イー1(6-②-ク)	1-2	<u>ら 0.79</u> イー3	7 7325 117 イー4	11人 イー5	イー6(1-6-1)	<u>/</u> イーフ	イー8	
		-	-	-	-				
松田口	(No.1)	(No.2)	(No.3)	(No.4)	(No.5)	(No.6)	(No.7)	(No.8)	
採取日	12/4		12/4	12/4	12/4	12/4		12/4	
採取時間	15:32		11:30	13:14	11:32	14:08 n≢		8:20	
前日天候 当日天候	<u>晴</u> 晴		晴 晴	晴 晴	晴	<u>晴</u> 晴		晴晴	
	7.0		· 門 11.4	8.5	晴 7	9.5		0.5	
採水地点の周辺状況	7.0 平原及び山地		T1.4 平原及び山地		/ 平原及び山地	9.5 平原及び山地		0.5 平原及び山地	
採水方法	TM及び出地		既設ポンプより直接	水中ポンプ	水中ポンプ	水中ポンプ		水中ポンプ	
採取量(1)	0.5		27.0	27.0	27.0	12.7		27.0	
水位(m)	7.7		-	6.3	8.7	12.7		8.1	
水温(°C)	11.5		13.5	11.0	10.5	11.0		10.5	
pH	7.1		6.4	7.8	6.7	7.4		6.6	
電気伝導度(mS/m)	210		170	100	140	190		96	
臭気	弱		無	強	強	強		無	
油膜	無		無	無	無	無		無	
濁り	微濁		無	微濁	濁	濁		無	
色	無		無	無	茶褐色	灰色		無	
特記事項	溶剤臭 一部項目欠 測	廃		溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭・腐敗臭	廃		
検査項目	イー1(6-②-ク)	イー2	イー3	イー4	イー5	イー6(イ-6-1)	イー7	イー8	環境基準
	(No.1)	(No.2)	(No.3)	(No.4)	(No.5)	(No.6)	(No.7)	(No.8)	垛况 空牛
1 カドミウム	0.0028		<0.0003	<0.0003	0.0004	0.0014		<0.0003	0.003
2 全シアン			ND	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
3 鉛又はその化合物	0.32		<0.002	<0.002	0.031	0.25		<0.002	0.01
4 六価クロム	<0.02		<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02	0.05
5 砒素	0.012		<0.001	0.001	0.009	0.074		<0.001	0.01
6 総水銀			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	0.0005
7 アルキル水銀			ND	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
8 PCB			ND	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.010		<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	_++_	0.0005	<0.0004	<0.0004	<0.0004	#	<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	ナト	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<u> ノー</u>	<0.002	0.1
13 1, 2-ジクロロエチレン	<0.004		<0.004	<0.004	<0.004	0.005		<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	<0.002	0.005		<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン	<0.0005		<0.0005	0.0011	<0.0005	0.0029		<0.0005	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	0.002
19 チウラム			<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
20 シマジン			<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003		<0.0003	0.003
21 チオベンガルブ			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
22 ベンゼン	<0.001		<0.001	<0.001	0.002	0.002		<0.001	0.01
23 セレン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<1	<1	<1	<1		<1	10
25 ふっ素			<0.1	0.2	0.1	0.4		<0.1	0.8
26 ほう素			<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)	7 1		0.053	0.040	1.0	0.083		0.052	/(可UIA #本平)
28 pH(単位なし) 29 BOD	7.1		6.4	7.8	6.7	7.4		6.6	(河川A類型 6.5~8.5
30 COD									(河川A類型 2) (湖沼A類型 3)
31 SS	1300		5	4	390	5400		1	(湖沿A類型 3) (河川A類型 25)
32 全窒素	1300		Ü	4	380	5400			(湖沼Ⅱ類型 0.2)
33 全燐									(湖沼Ⅱ類型 0.2)
34 電気伝導度 (mS/m)	210		170	100	140	190		96	通常河川 10程度
35 塩素イオン	420		370	166	290	390		110	飲料水水質基準200
36 トルエン	<0.06		<0.06	<0.06	<0.06	<0.06		<0.06	(指針値)0.6
37 キシレン	<0.04		<0.04	0.12	<0.04	<0.04		<0.04	(指針値)0.4
38 エチルベンゼン	0.0028		0.0004	0.12	0.0004	0.043		<0.001	
39 1, 4-ジオキサン	0.44		0.0004	0.080	0.010	0.80		0.026	0.05
40 塩化ビニルモノマー	<0.0002		0.0002	0.0045	<0.0002	0.0030		0.0010	0.002
ろ過後の値:砒素			5,0002	<0.001	<0.001	0.002		0,0010	3,002
ろ過後の値:鉛				15.50	<0.002	0.005			
ろ過後の値:カドミウム					<0.0003	<0.0003			
ろ過後の値:総水銀									
	環境基準を	·超過した観	測値		指針値を超	過した観測	単位は特に	記載がない	、Ry、mg/ℓ
				項目で 定	量下限値を				
		<i></i>							

				<u> </u>	\	E 'TI LLL	エルバ	ᅜᆄᄼ	左10 E	11			
			/ 10) — 6 : 原								
		•	-	· ·	イー12	-	-	-	_		· ·		
	採取日	12/4	(W-2)	12/4	12/4	12/4	(W-6) 12/4	12/4	12/4	(W-9) 12/4	12/4	12/4	
	採取時間	11:30	10:00	13:10	11:55	9:00	7:50	13:10	8:45	10:16	9:35	9:40	
	前日天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
	当日天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
	気温(℃)	4.0	4.5	7.5	11.5	2.5	0.0	10.9	3.4	11.5	7.5	4.5	
採力	(地点の周辺状況	山林		平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地			平原及び山地				
	採水方法 採取量(I)	水中ポンプ 27.0	susベーラー 1.2	水中ポンプ 27.0	既設ポンプより直接	水中ポンプ 27.0	水中ポンプ 27.0	既設ポンプより直接 27.0	水中ポンプ 27.0	水中ポンプ 27.0	水中ポンプ 27.0	水中ポンプ 27.0	
	水位(m)	0.3	9.0	1.7	-	4.4	4.2	-	3.7	8.3	2.5	8.0	
	水温(℃)	8.5	10.0	10.1	11.0	10.5	10.2	11.7	9.0	10.7	10.6	9.0	
	рН	6.2	_	6.5	6.5	6.6	6.2	6.4	6.6	5.7	6.1	5.7	
電気	え伝導度(mS/m)	22	46	5.3	82	100	22	83	5.7	63	75	55	
	臭気 油膜	無無	無無	無無	無無	弱 無	無無	無無	無無	無無	無無	無無	
	濁り	無	濁	微濁	無	微濁	無	無	無	微濁	濁	無	
	色	無	茶色	白褐色	無	茶色	無	無	無	淡褐色	褐色	無	
特記	事項												
						溶剤臭							
	14	イー9	イー10	イー11	イー12	イー13	イー14	イー15	イー16	イー17	イー18	イー19	-m (+ +) · · ·
	検査項目	-			(W-4)								環境基準
1	カドミウム	<0.0003			<0.0003							<0.0003	0.003
2	全シアン	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	鉛又はその化合物	<0.002		0.006	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		0.010	0.081	<0.002	0.01
4	六価クロム	<0.02		<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05
<u>5</u>	砒素 総水銀	<0.001 0.0007		<0.001	<0.001 <0.0005	<0.001 <0.0005	<0.001	<0.001 <0.0005	<0.001	0.002	<0.001	<0.001 <0.0005	0.01 0.0005
7	アルキル水銀	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	PCB	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	ジクロロメタン	<0.002		<0.002	<0.002	(0.00	<0.002				<0.002		0.02
10	四塩化炭素	<0.0002			<0.0002								0.002
11 12	1, 2-ジクロロエタン 1, 1-ジクロロエチレン	<0.0004 <0.002		<0.0004	<0.0004 <0.002	<0.0004	<0.004		<0.0004				0.004 0.1
13	1, 2-ジクロロエチレン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.007		<0.002	0.014	<0.002		0.04
	1, 1, 1-トリクロロエタン				0.0012			<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	1
	1, 1, 2-トリクロロエタン				<0.0006								
	トリクロロエチレン	<0.002		<0.002		<0.002			<0.002		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<0.002	0.03
	テトラクロロエチレン 1, 3-ジクロロプロペン	<0.0005 <0.0002			0.0008 <0.0002							0.0015	0.01 0.002
19	チウラム	<0.0002			<0.0002								
20	シマジン	<0.0003			<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003			0.003
21	チオベンガルブ	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002		0.02
22	ベンゼン	<0.001		<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
23 24	セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	<0.002 1	29	<0.002 <1	<0.002 6	<0.002 <1	<0.002 2	<0.002 <1	<0.002 <1	<0.002 47	<0.002 <1	<0.002 37	0.01 10
	ふつ素	<0.1	ZJ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	0.8
26	ほう素	<0.1		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
27	ダイオキシン類(pg-TEQ/L)	0.054		0.056	0.050	0.058	0.052	0.050	0.051	0.065	1.3	0.052	1
	pH(単位なし)	6.2		6.5	6.5	6.6	6.2	6.4	6.6	5.7	6.1	5.7	(河川A類型 6.5~8.5)
	BOD COD												(河川A類型 2) (湖沼A類型 3)
	SS	8		30	<1	13	3	2	3	330	1100	<1	(河川A類型 25)
32	全窒素				, .								(湖沼Ⅱ類型 0.2)
33	全燐					,							(湖沼Ⅱ類型 0.01)
	電気伝導度 (mS/m)	22	46	5.3	82	100	22	83	5.7	63	75	55	通常河川 10程度
	<u>塩素イオン</u> トルエン	55 <0.06		3.3 <0.06	150 <0.06	140 <0.06	38 <0.06	170 <0.06	3.5 <0.06	79 <0.06	99 <0.06	41 <0.06	飲料水水質基準200 (指針値)0.6
	キシレン	<0.04		<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	(指針値)0.6 (指針値)0.4
38		<0.001			<0.001					<0.0001			
39	1, 4-ジオキサン	0.051		<0.005	0.037	0.028	<0.005	0.45	<0.005	0.038	0.025	0.006	0.05
	塩化ビニルモノマー	<0.0002		<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.0003	<0.0002	0.002
	過後の値:砒素									<0.001			
ろ;	る温谷の店・弘宗			∠∩ ∩∩ 2						$\sqrt{0.000}$	0.002		
ろ;	ろ過後の値:鉛			<0.002				<u 3<="" td="" uuu=""><td></td><td><0.002</td><td></td><td></td><td></td></u>		<0.002			
ろ ろ過	ろ過後の値:鉛 後の値:カドミウム 後の値:総水銀	<0.0005		<0.002				<0.0003		<0.002	0.003 0.0034 <0.0005		

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測値 単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

		4)-6:i	西側県境部	3地下水		
		_	成25年12			
	イー20	イー21	イー22	√ √ 1-23	イー24	
	(H15-3)	(SW-1)	(SW-2)	(NW-1)	(NW-2)	
採取日	12/4	12/4	12/4	(1477 1)	12/4	
採取時間	10:37	14:52	13:40		14:15	
前日天候	晴	晴	晴		晴	
当日天候	晴	晴	晴		晴	
気温(℃)	4.5	8.0	4.5		4.5	
採水地点の周辺状況	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地		平原及び山地 既設ポンプより直接	
採水方法 採取量(I)	<u>水中ポンプ</u> 27.0	SUSバケツ 27.0	水中ポンプ 27.0		27.0	
水位(m)	8.6	-	7.9		-	
水温(℃)	12.8	9.0	12.3		12.0	
рН	6.7	6.6	7.0		6.4	
電気伝導度(mS/m)	100	100	51		110	
臭気	弱	弱	弱		無	
油膜	無	無	無		無	
濁り	濁	微濁	微濁		無	
<u>色</u> 特記事項	茶色	赤褐色	茶褐色		無	
付記争块	溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭	廃		
検査項目	イー20 (H15-3)	イー21 (SW-1)	イー22 (SW-2)	イー23 (NW-1)	イー24 (NW-2)	環境基準
1 カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003		<0.0003	0.003
2 全シアン	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
3 鉛又はその化合物	<0.002	<0.002	<0.002	_1_	<0.002	0.01
4 六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02	0.05
5 砒素	0.001	<0.001	<0.001		<0.001	0.01
6 総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	0.0005
7 アルキル水銀 8 PCB	ND ND	ND ND	ND ND		ND ND	検出されないこと 検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン	0.11	0.0056	<0.0004	- ##	<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン	0.005	<0.002	<0.002	丌	<0.002	0.1
13 1, 2-ジクロロエチレン	0.65	0.029	<0.004		<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン	0.0098	0.0022	<0.0005		<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン	0.10	0.16	<0.002		<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン 18 1, 3-ジクロロプロペン	0.013 <0.0002	0.0082 <0.0002	<0.0005 <0.0002		<0.0005 <0.0002	0.01 0.002
19 チウラム	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	0.002
20 シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003		<0.0003	0.003
21 チオベンガルブ	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
22 ベンゼン	0.97	0.027	<0.001		<0.001	0.01
23 セレン	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	<1	<1	<1		7	10
25 ふっ素	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	0.8
26 ほう素 27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)	<u><0.1</u> 0.095	<0.1 0.051	<0.1 0.052		<0.1 0.051	1
28 pH(単位なし)	6.7	6.6	7.0		6.4	(A類型 6.5~8.5)
29 BOD	0.7	0.0	7.5		U.T	(A類型 2)
30 COD						(A類型 3)
31 SS	50	2	31		1	(A類型 25)
32 全窒素						(湖沼類型Ⅱ 0.2)
33 全燐						
34 電気伝導度 (mS/m)	100	100	51		110	通常河川 10程度
35 塩素イオン 36 トルエン	150	130	42 <0.06		160 <0.06	飲料水水質基準200 (指針値)0.6
37 キシレン	<0.06 <0.04	<0.06 <0.04	<0.06 <0.04		<0.06	(指針値)0.6 (指針値)0.4
38 エチルベンゼン	0.0005	0.0017	<0.001		0.0004	(指亚门巴/0.4
39 1, 4-ジオキサン	0.068	0.060	0.011		0.0004	0.05
40 塩化ビニルモノマー	0.18	0.0081	<0.0002		0.0002	0.002
ろ過後の値:砒素						
ろ過後の値:鉛						
ろ過後の値:カドミウム						
ろ過後の値:総水銀					載がたい限り 。	

単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 環境基準を超過した観測値 単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 指針値を超過した観測値 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

	I				1)-6-	周辺表	: 流水(:	亚成26	年1日)	1			
		直近の沢 No.1	直近の沢 No.2			境沢上流	溜池	十文字川 支流		南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	
採取日 採取時間 前日天候		1/8 10:55 曇	1/8 10:25 曇	1/8 13:02 曇	1/8 8:31 曇	1/8 10:40 曇	1/8 11:45 曇	1/8 7:45 曇	_ _ _	1/8 11:20 曇	1/8 10:40 曇	1/8 11:30 曇	
当日天候 気温(℃) 採水地点の周辺	状況	三 雲 1.5 山林	臺 	臺 雲 2.1 山林	芸 雲 1.8 平原及び山地	芸 雲 1.8 平原及び山地	曇 1.4	<u>曇</u> 0.0	— — 山林	芸 雲 1.5 平原及び山地	臺 曇 −2.0 山林	芸 雲 1.6 平原及び山地	
採水方法 採取量(I) 水位(m)		SUS柄杓 0.7	SUS柄杓 0.7 —	SUS柄杓 0.7 —	直接 0.7 一	SUS柄杓 0.7 —		直接 0.7 一	_ 	SUS柄杓 0.8 一	直接 0.8 一	SUSベーラー 0.8 ー	
水温(℃) pH 電気伝導度(mS	S/m)	4.0 7.2 41	2.2 7.0 28	3.8 7.1 15	2.6 7.2 7.9	2.2 7.1 16	0.3 6.7 26	1.3 7.3 10	_ _ _	0.7 7.1 97	8.0 6.3 52	6.8 6.0 60	
臭気 油膜 濁り		無無	無無	無無	無無無	無無無	無無無	無無無	_ _ _	無無	無無無	無無無	
色 流入		無無	無	無	無無	無無	無無	無無		無無	無無	無無	
特記事項													
検査項目		直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下 流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	環境基準
1 カドミウ <i>L</i> 2 全シアン													0.003 検出されないこと
2 主ンアン 3 鉛又はその化													快出されないこと
4 六価クロ	ム												0.05
5	_		_				_	_				0.0017	0.01 0.0005
7 アルキル2	水銀											ND	検出されないこと
8 PCB													検出されないこと
9 ジクロロメ 10 四塩化炭		<0.002 <0.0002	<0.002 <0.0002	<0.002		<0.002 <0.0002				<0.002	<0.002 <0.0002		0.02 0.002
10 四塩化炭		<0.0002				<0.0002					< 0.0002		0.002
12 1, 1-ジクロロエ・	チレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.1
13 シス-1, 2-ジクロロコ		<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004		<0.004		<0.004	<0.004		0.04
14 1, 1, 1-トリクロロ 15 1, 1, 2-トリクロロ	エタン	<0.0005 <0.0006	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005 <0.0006	<0.0005	<0.0005		<0.0005 <0.0006	<0.0005 <0.0006	<0.0005 <0.0006	0.006
16 トリクロロエチ	チレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.03
17 テトラクロロエラ						<0.0005					<0.0005		0.01
18 1, 3-ジクロロプロリカ 19 チウラム		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 0.006
20 シマジン													0.003
21 チオベンガ		(0.001	(0.00t	(0.00t	/0.001	/0.001	(0.00t	(0.00t		(0.001	(0.001	(0.001	0.02
22 ベンゼン 23 セレン	-	<0.001	⟨∪.∪01	<0.001	⟨∪.∪∪1	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001	<0.001	⟨∪.∪∪1	0.01 0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸	後性窒素												10
25 ふっ素													0.8
26 ほう素 27 ダイオキシン類(pg-	-TEQ/L)												1
28 pH(単位な		7.2	7.0	7.1	7.2	7.1	6.7	7.3		7.1	6.3	6.0	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD													(河川A類型 2)
30 COD 31 SS	_												(湖沼A類型 3) (河川A類型 25)
32 全窒素													(湖沼Ⅱ類型 0.2)
33 全燐	0/ `	44	00	4.5	7.0	10	00	10		0.7	F.0	00	(湖沼Ⅱ類型 0.01)
34 電気伝導度 (m 35 塩素イオ		41	28	15	7.9	16	26	10		97	52	60	通常河川 10程度 飲料水水質基準200
36 トルエン		<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06		<0.06	<0.06	<0.06	(指針値)0.6
37 キシレン		<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04	<0.04	<0.04	(指針値)0.4
38 エチルベン 39 1, 4-ジオキ		<0.0001 0.017	<0.0001 0.015	<0.0001 <0.005		<0.0001 <0.005				<0.0001 0.021	<0.0001 0.047	<0.0001 0.026	0.05
40 塩化ビニルモ		0.017	0.015	\0.005	\U.UU3	\U.UU3	\0.005	\0.005		0.021	0.047	0.020	0.002
ろ過後の値:	此素												
ろ過後の値:総:	水銀											0.0016	

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測値 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

単位は特に記載がない限り、mg/ℓ

<u> </u>	I		<u> </u>		ᆉᄼᅑᇠ	06年1日)			I
				_		26年1月)			
	イー1(6-②-ク)	-	1 −3	イ - 4	イー5	イー6(1-6-1)		イ -8	
15 T. C	(No.1)	(No.2)	(No.3)	(No.4)	(No.5)	(No.6)	(No.7)	(No.8)	Į.
採取日	1/8		1/8	1/8	1/8	1/8	_	1/8	
採取時間	14:37	_	14:21	11:36	9:48	11:52		15:09	l
前日天候	曇	_	曇	曇	曇	曇		曇	
当日天候 気温(℃)	<u>曇</u> -1.0		曇	<u>曇</u> -2.0	<u>曇</u> -2	雪 -2.0		<u>曇</u> -1.0	1
採水地点の周辺状況		一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一				-2.0 平原及び山地	一 一 一 一		1
採水方法	T原及び出地 SUSベーラー	十原及び山地	既設ポンプより直接	TR及び田地	TRXU日地	T原及び田地	十原及び田地	TR及び田地	1
採取量(1)	0.6	_	0.6	0.6	0.8	0.6		0.8	1
水位(m)	7.0	_	-	7.5	9.5	14.0		8.0	1
水温(℃)	12.0	_	7.0	11.0	8.0	11.0	_	13.0	1
рН	7.0	_	6.5	7.6	6.7	7.4	_	6.9	1
電気伝導度(mS/m)	290	_	180	96	150	180	_	91	1
臭気	弱	_	弱	強	弱	強	_	弱	1
油膜	無	_	無	無	無	無	_	無	
濁り	微濁		無	微濁	濁	微濁	_	無	
色	黄褐色	-	無	黄褐色	黒色	黒色	_	無	
特記事項	溶剤臭	廃	溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭	糞便·溶剤臭	廃	溶剤臭	
—————————————————————————————————————	イー1(6-②-ク)	イー2	イー3	イー4	イー5	イー6(1-6-1)	イー7	イー8	環境基準
	(No.1)	(No.2)	(No.3)	(No.4)	(No.5)	(No.6)	(No.7)	(No.8)	
1 カドミウム									0.003
2 全シアン									検出されないこと
3 鉛又はその化合物							<u>_</u>		0.01
4 六価クロム									0.05
5 砒素									0.01
6 総水銀									0.0005
7 アルキル水銀 8 PCB									検出されないこと
8 PCB 9 ジクロロメタン					<0.002			<0.002	検出されないこと 0.02
10 四塩化炭素					<0.002			<0.002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン					<0.0002		-##	<0.0002	0.002
12 1, 1-ジクロロエチレン		井			<0.0004		开	<0.0004	0.004
13 1, 2-ジクロロエチレン		71			<0.004			<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン					<0.0005			<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン					<0.0006			<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン					<0.002			<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン					<0.0005			<0.0005	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン					<0.0002			<0.0002	0.002
19 チウラム									0.006
20 シマジン									0.003
21 チオベンガルブ									0.02
22 ベンゼン					0.001			<0.001	0.01
23 セレン									0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素									10
25 ふっ素									0.8
26 ほう素 27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)									1
28 pH(単位なし)	7.0		6.5	7.6	6.7	7.4		6.9	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD	7.0		0.0	7.0	0.7	7.4		0.8	(河川A類型 6.5~8.5)
30 COD									(湖沼A類型 3)
31 SS									(河川A類型 25)
32 全窒素									(湖沼Ⅱ類型 0.2)
33 全燐									(湖沼Ⅱ類型 0.01)
34 電気伝導度 (mS/m)	290		180	96	150	180		91	通常河川 10程度
35 塩素イオン									飲料水水質基準200
36 トルエン									(指針値)0.6
37 キシレン									(指針値)0.4
38 エチルベンゼン									-
39 1, 4-ジオキサン	0.61		0.28	0.092	0.006	0.48		0.021	0.05
40 塩化ビニルモノマー									0.002
ろ過後の値:砒素									I
ろ過後の値:鉛									ł
ろ過後の値:カドミウム ろ過後の値:総水銀									ł
つ過反い但、応小政		上 ·超過した観	油炉		 七 <u> </u>	L ☑過した観測	出上上井	 -==±+ 4 <i>>+</i>	\[\text{TFI} \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測 単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

			(<u>8)—6·</u>	周辺地	下水(亚成26	3年1日)			
	1-0	√ −10	<u>イ</u> ー11							√ _10	√ −10	
		(W-2)		(W-4)		(W-6)		(W-8)		(W-10)		
採取日	1/8	(VV Z)	1/8	1/14	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	
採取時間	10:48	_	15:10	11:30	14:15	15:27	13:44	15:15	14:35	14:57	15:40	
前日天候	曇	_	曇	_	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	
当日天候	曇	_	曇	_	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	
気温(℃) 採水地点の周辺状況	-2.0		0.2	—	0.0 平原及び山地	-1.0	-1.0	0.3	0.0	0.1	0.5 平原及び山地	
採水方法	山林 SUSベーラー	平原及び山地 SUSベーラー	平原及び山地 SUSベーラー	平原及び山地	平原及び山地 SUSベーラー	平原及び牧草地 SUSベーラー	平原及び山地 SUSベーラー	平原及び山地 SUSベーラー	平原及び山地 SUSベーラー	平原及び山地 SUSベーラー	平原及び山地 SUSベーラー	
採取量(1)	0.6	_	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	
水位(m)	0.3	_	1.7	ı	4.8	4.4	12.8	3.9	10.0	3.9	8.2	
水温(℃)	6.0	_	6.0	_	10.7	11.0	11.0	5.7	9.3	9.2	8.0	
pH 原气/inf (c /)	6.7	_	7.1	7.2	6.5	6.2	6.3	7.0	5.8	6.7	5.8	
電気伝導度(mS/m) 臭気	22 弱		5.3 無	140 —	100 強	23 弱	98 弱	11.0 無	65 無	89 強	58 無	
油膜	無	_	無	_	無	無	無	無	無	無	無	
濁り	無	_	無	_	微濁	無	微濁	無	無	濁	無	
色	無	_	無	_	薄茶色	無	赤褐色	無	無	こげ茶色	無	
特記事項	溶剤臭			3-16で 採水	溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭 既設ポンプ 停止のため ベーラーに て採水	既設ポンプ 停止のため ベーラーに て採水	停止のため	溶剤臭 既設ポンプ 停止のため ベーラーに て採水		
検査項目	-		イー11 (W-3)									環境基準
1 カドミウム												0.003
2 全シアン 3 鉛又はその化合物												検出されないこと 0.01
4 六価クロム												0.01
5 砒素												0.01
6 総水銀												0.0005
7 アルキル水銀												検出されないこと
8 PCB						/0.000					/0.000	検出されないこと
<u>9 ジクロロメタン</u> 10 四塩化炭素						<0.002 <0.0002					<0.002 <0.0002	0.02 0.002
10 四垣10灰糸 11 1, 2-ジクロロエタン						<0.0002					<0.0002	
12 1, 1-ジクロロエチレン						<0.002					<0.002	0.1
13 1, 2-ジクロロエチレン						0.009					<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン						0.0019					<0.0005	
15 1, 1, 2-トリクロロエタン						<0.0006					<0.0006	
16 トリクロロエチレン						0.009 0.0049					<0.002 0.0018	0.03 0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン						<0.0043					<0.0010	
19 チウラム						(0.0002					(0.0002	0.006
20 シマジン												0.003
21 チオベンガルブ						(0.004					(0.001	0.02
22 ベンゼン 23 セレン						<0.001					<0.001	0.01 0.01
23 ピレン 34 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素												10
25 ふっ素												0.8
26 ほう素												1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)			- 1						F .	<u> </u>	FA	1
28 pH(単位なし)	6.7		7.1	7.2	6.5	6.2	6.3	7.0	5.8	6.7	5.8	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD 30 COD												(河川A類型 2) (湖沼A類型 3)
31 SS												(河川A類型 25)
32 全窒素												(湖沼Ⅱ類型 0.2)
33 全燐								.,				(湖沼Ⅱ類型 0.01)
34 電気伝導度 (mS/m)	22		5.3	140	100	23	98	11	65	89	58	通常河川 10程度
35 塩素イオン 36 トルエン												飲料水水質基準200 (指針値)0.6
37 キシレン												(指針値)0.4
38 エチルベンゼン												-
39 1, 4-ジオキサン	0.051		<0.005	0.019	0.034	<0.005	0.45	<0.005	0.043	0.034	0.007	0.05
40 塩化ビニルモノマー												0.002
ろ過後の値:砒素												
ろ過後の値:鉛 ろ過後の値:カドミウム												
ろ過後の値:総水銀												
		#を超過し	た観測値	<u> </u>		指針値を	超過した	:観測値	単位は特	・ 寺に記載が	がない限り	IJ、mg/ℓ
			見項目指針								*	-
	-	-		. –				_				

			<u>4</u>)-6:ī	西側県境部			
				□ KJ / N - 5 L II ^Z 成26年1月			
		イ-20	イー21	1-22	1-23	1-24	
採取日		(H15-3) 1/8	(SW-1) 1/8	(SW-2) 1/8	(NW-1)	(NW-2) 1/8	
採取時間		8:28	8:46	9:02		9:29	
前日天候		曇			-	曇	
当日天候		曇	曇	曇	_	曇	
気温(℃) 採水地点の周辺	状況	-1.0 平原及び山地	-1.0 平原及び山地	-1.0 平原及び山地	ー <u>ー</u> 平原及び山地	-1.0 平原及び山地	
採水方法	<i>D</i> (7)0	SUSベーラー	ホース吐出口より直接	SUSベーラー		既設ポンプより直接	
採取量(1)		0.7	0.7	0.7	_	0.8	
水位(m) 水温(℃)		8.6 11.0	— 14.0	8.2 12.0		8.0	
рН		6.9	6.7	7.1	_	6.5	
電気伝導度(mS	/m)	110	110	51	-	110	
臭気 油膜		弱無	強 無	弱 無		弱無	
濁り		濁	無無	無		無無	
色		黒色	無	無	Lak-	無	
特記事項					廃		
		溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭		溶剤臭	
検査項目		イー20 (H15-3)	イー21 (SW-1)	イー22 (SW-2)	イー23 (NW-1)	イー24 (NW-2)	環境基準
1 カドミウム		(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, 2 1/	, , , , , ,		,	0.003
2 全シアン					_		検出されないこと
3鉛又はその個4六価クロム							0.01 0.05
5 砒素	^						0.01
6 総水銀							0.0005
7 アルキルス	<u>水銀</u>						検出されないこと
8 PCB 9 ジクロロメ	タン	<0.002	<0.002	<0.002	-#	<0.002	検出されないこと 0.02
10 四塩化炭		<0.002	<0.002	<0.002	ガ	<0.002	0.002
11 1, 2-ジクロロ	エタン	0.18	0.0096	<0.0004		<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエ 13 1, 2-ジクロロエ		0.007	<0.002 0.059	<0.002 <0.004		<0.002 <0.004	0.1 0.04
14 1, 1, 1-hリクロロ		0.026	0.0037	<0.004		<0.004	1
15 1, 1, 2-トリクロロ	コエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
16 トリクロロエラ	チレン	0.19	0.035	<0.002		<0.002	0.03
17 テトラクロロエ 18 1, 3-ジクロロブ		0.0074 <0.0002	0.016 <0.0002	<0.0005 <0.0002		<0.0005 <0.0002	0.01 0.002
19 チウラム	ロハン	\0.0002	\0.0002	\0.0002		\0.0002	0.002
20 シマジン							0.003
21 チオベンガ	゙ルブ	1.0	0.004	(0.001		0.001	0.02
22 ベンゼン 23 セレン		1.9	0.061	<0.001		0.001	0.01 0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝	酸性窒素						10
25 ふっ素	_						0.8
26 ほう素	TEO "."						1
27 ダイオキシン類(pg- 28 pH(単位な		6.9	6.7	7.1		6.5	(A類型 6.5~8.5)
29 BOD	<u></u>	0.5	5.7	,		0.0	(A類型 2)
30 COD	_						(A類型 3)
31 SS 32 全窒素							(A類型 25) (湖沼類型Ⅱ 0.2)
32 主至系 33 全燐							(湖泊規室Ⅱ 0.2)
34 電気伝導度 (n		110	110	51		110	通常河川 10程度
35 塩素イオン	,						飲料水水質基準200
36 トルエン 37 キシレン							(指針値)0.6 (指針値)0.4
37 キンレン 38 エチルベン	ゼン						(7日亚门巴/U.4 —
39 1, 4-ジオキ	サン	0.078	0.075	0.010		0.19	0.05
40 塩化ビニルモ							0.002
ろ過後の値: ろ過後の値							
ろ過後の値:カド							
-~~~~~~~·	水銀						

単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 環境基準を超過した観測値 単位は特に記載がない限り、mg/ℓ 指針値を超過した観測値 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

